



「チェンジ玉名」実現予算

平成23年度玉名市予算説明書



平成23年3月12日

新玉名駅開業！

はじめに

玉名市民の皆様をはじめ、玉名市に関わる個人や団体の皆様には、日頃から玉名市の発展、まちづくりにご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

昨年9月に市長の掲げたローカル・マニフェストをとりまとめ「チェンジ玉名」を公表いたしました。主なものとしましては、医療費の無料化を小学校修了まで拡充、住宅用太陽光発電システムの推進、「さくら咲く券」販売支援、「なかよしの日」制定など、玉名市の均衡ある発展と住民福祉の向上を図るため、数々の施策に取り組んできたところです。

また、国道208号玉名バイパスが全線開通となり、待望の九州新幹線鹿児島ルートも全線開業いたしました。これを期に玉名市の更なる発展を期待しながら、「玉名に住んでよかった」というまちづくりに取り組んでまいります。

平成23年度の一般会計予算ですが、前年度に比べ5.7%増の274億2千5百万円となっています。基本的な考え方としては、「チェンジ玉名」を着実に進めるため“「チェンジ玉名」実現予算”として予算編成を行っています。

定住化促進や6次産業の推進など重点的に取り組むと共に、新庁舎建設も本格的に動き出し、総合計画の策定や公共施設の適正配置計画の策定、学校規模の適正化への取組みなど、「チェンジ玉名」の実現に向け進んでまいります。

このほかにも、消費生活センターを設置するなど皆さんの暮らしが向上するよう様々な事業に取り組んでまいります。できるだけ分かりやすく予算説明書として取りまとめたところです。この予算説明書を今後の取組みにご活用いただければ幸いに存じます。

なお、この予算説明書は、予算の抜粋という形で編集しています。お気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。

平成23年3月

玉名市役所 総務部 財政課

電話番号：0968-75-1112

e-mail :zaisei@city.tamana.lg.jp

平成23年度予算説明書 目次

大分類	中分類	事業名	事業費 (千円)	頁	
I. 便利で快適な まちづくり 1,802,096 千円	1. 道路交通体系の整備 1,181,569 千円	岱明玉名線	600,000	5	
		小浜繁根木線	12,000	5	
		県営道路事業負担金	7,500	5	
		都市計画道路の整備	30,011	6	
		都市計画区域見直し及びマスタープラン策定事業	14,878	6	
		県営農免道路整備事業負担金	3,000	6	
		生活道路網の整備	473,066	7	
		橋りょう整備事業	41,114	7	
	2. 公共交通の充実 64,006 千円	福祉送迎バス事業	6,039	8	
		地域の公共交通の確保	57,967	8	
	3. 魅力ある住環境の整備 258,831 千円	公営住宅改修工事等	239,680	8	
		定住化促進事業	12,392	9	
		高齢者と子どものふれあい事業	2,759	9	
		ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業	4,000	10	
	4. 公園緑地等の整備 118,088 千円	公園管理事業	74,789	10	
		公園整備事業	33,498	11	
		花の都づくり推進費	6,701	11	
		花づくり会補助金	600	11	
		花苗栽培事業	2,500	12	
	5. 情報・通信基盤の整備 179,602 千円	情報・通信ネットワークの整備、情報サービスの充実	152,955	12	
		地上デジタル放送電波障害対策事業	26,647	12	
	II. 人と自然にやさしい 環境のまちづくり 6,890,481 千円	1. 自然環境の保全	豊かな自然環境の保全	3,775	13
		2. 環境保全への意識啓発	エコの環たまな補助金	500	13
3. 新エネルギーの導入		太陽光発電設置補助事業	30,000	14	
4. 上水道・下水道の整備促進 4,118,066 千円		水道事業	1,247,083	14	
		下水道事業会計	2,401,770	15	
		農業集落排水事業特別会計	348,411	15	
		浄化槽整備事業特別会計	36,178	15	
		浄化槽設置整備費事業	84,624	16	
5. 安全安心なまちづくり 1,243,351 千円		地域防災組織及び防災体制の強化	1,012,893	16	
		交通安全対策の強化	23,316	16	
		防犯対策の強化	18,634	17	
		JR駅管理事業	5,280	17	
		災害時要援護者管理システム	110	17	
	玉名平野地区排水路整備事業	123,711	18		
	河川事業	59,407	18		

大分類	中分類	事業名	事業費 (千円)	頁
Ⅱ. 人と自然にやさしい 環境のまちづくり 6,890,481 千円	6. ごみ・し尿処理と再資源化 の推進 1,494,789 千円	循環型社会システムの構築	3,561	19
		ごみ処理システムの確立	920,772	19
		し尿処理施設の充実	570,456	19
Ⅲ. 人をはぐくむ まちづくり 539,229 千円	1. 学校教育の充実 186,463 千円	コミュニティースクール推進事業	300	20
		教育研究所費	329	20
		特色ある学校づくり事業	600	20
		適応指導教室指導員活用事業	2,998	20
		学校図書の充実	33,793	20
		特別支援教育支援員の配置事業	45,121	21
		放課後子ども教室推進事業	1,184	21
		学校の支援活動	1,586	21
		学校規模適正化事業	2,009	21
		学校施設整備事業	98,543	22
	2. 社会教育の充実 144,895 千円	生涯学習基盤の整備	60,101	22
		図書館運営事業	78,820	23
		人権教育の推進	3,474	23
		「なかよしの日」推進事業	1,000	23
	3. 社会体育の充実 111,450 千円	生涯学習基盤の整備	60,101	22
		図書館運営事業	78,820	23
		人権教育の推進	3,474	23
	4. 文化・芸術の振興 55,774 千円	「なかよしの日」推進事業	1,000	23
		人材育成基金助成金	1,500	24
		社会体育施設の充実	76,493	24
		生涯スポーツの推進	22,887	25
	5. 国際交流の推進 37,506 千円	社会体育の組織の強化と指導者の育成	12,070	25
		外国青年招致事業(ALT)	31,696	27
	6. 「音楽の都 玉名」づくり	国際交流活動の推進	5,810	27
		音楽の都づくり	3,141	27
	Ⅳ. 活力とにぎわいのあ る産業のまちづくり 1,917,887 千円	1. 農林業の振興 1,571,078 千円	主要農産物の振興	68,429
6次産業推進事業			15,283	30
環境にやさしい農業の推進			600	30
有害鳥獣捕獲事業			3,364	30
市土地改良事業			43,200	31
市土地改良施設整備事業			21,678	31
県営土地改良事業			34,626	31

大分類	中分類	事業名	事業費 (千円)	頁
IV. 活力とにぎわいのあ る産業のまちづくり 1,917,887 千円	1. 農林業の振興 1,571,078 千円	排水施設維持管理事業	135,504	31
		農地・水・環境保全向上対策事業	23,803	31
		村づくり交付金事業	63,392	32
		農山漁村活性化プロジェクト交付金事業	96,246	32
		圃場整備事業	34,226	32
		渇水対策事業	967,333	33
		新たな経営安定対策への取組み	50,403	33
		農地制度実施円滑化事業	1,115	33
		郷〇市	3,876	34
		磯の里の管理	3,428	34
		森林の多面的活用と林道整備	4,572	34
	2. 水産業の振興 26,317 千円	漁場環境の保全	18,000	35
		水産基盤整備の推進	7,367	35
		内水面漁業の振興	950	35
	3. 製造業・工業の振興 199,710 千円	企業誘致の推進	16,156	36
		地場企業の育成・起業家支援	127,850	36
		雇用対策	55,704	36
	4. 商業の振興 34,736 千円	消費者行政活性化事業	5,625	36
		各店舗の魅力を高める商業・商店街づくり	29,111	37
	5. 観光の振興 86,046 千円	九州新幹線活用事業	1,036	37
		観光情報サービスのネットワーク化	14,935	38
		特色ある観光地づくり	31,864	38
		特産・物産品の開発、促進	13,006	39
		観光ツーリズムの開発	3,101	40
		観光組織体制の強化	12,848	40
		草枕交流館	9,256	41
ふるさとセンターY・BOX		0	41	
草枕温泉てんすい		0	41	
V. いきいきと暮らせる 福祉のまちづくり 11,540,904 千円	1. 保健医療体制の充実 688,133 千円	保健・医療供給体制の整備	480,368	42
		疾病に応じた保健医療対策の推進	191,057	42
		人間ドックの充実	16,708	42
	2. 保健活動の推進 6,341,468 千円	妊婦健診の充実	51,527	42
		乳幼児・少年期対策	12,381	43
		青壮年期・中年期対策	140,896	43
		食育の推進	222	43
		介護保険給付費、地域支援事業	6,136,442	44

大分類	中分類	事業名	事業費 (千円)	頁
V. いきいきと暮らせる 福祉のまちづくり 11,540,904 千円	3. 社会福祉の充実 3,149,261 千円	保育体制の推進	129,494	44
		多子世帯子育て支援の充実	23,929	44
		子育て支援体制の充実と環境整備	1,682,318	45
		緊急通報体制等整備事業	1,670	45
		介護施設等整備事業	8,487	45
		老人クラブ補助金	13,399	46
		高齢者住宅改造給付費	3,264	46
		九州看護福祉大学との連携強化	1,925	46
		「ねんりんピック2011熊本」実行委員会補助金	10,661	47
		障害のある人の自立支援体制の充実	1,256,484	47
		相談支援事業	17,630	47
	4. 社会保障の充実 1,362,042 千円	生活保護事業	1,053,000	48
		ひとり親家庭支援事業の充実	309,042	48
	VI. みんなで進める 協働のまちづくり 291,656 千円	1. 協働のまちづくり 9,272 千円	市民活動支援サイト「たまりん」運営費	1,082
玉名21の星事業助成金			6,300	49
防災行政無線の整備			1,890	49
2. 人権啓発の推進		人権推進事業	8,915	50
3. 男女共同参画社会の推進		男女共同参画社会づくり事業	1,629	50
4. 情報公開の推進 27,449 千円		市政要覧の作成	2,289	50
		広報事業	24,320	51
		公会計制度の導入	840	51
5. 行財政運営の効率化 244,391 千円		市民課窓口の効率化	7,500	51
		総合計画(後期基本計画)策定	9,342	51
		公共施設適正配置計画策定	8,946	52
		庁舎建設事業	218,603	52
◆当初予算資料		当初予算総括表		
	一般会計歳入歳出予算内訳表			54
	基金の動向			57
	地方債の動向			58
◆平成21年度財務諸表	新地方公会計に基づく財務諸表			59

※今回の予算説明書は、第1次玉名市総合計画に基づき、事業を抜粋していますので、事業費総額は当初予算総額とは一致しませんのでご了承ください。

1. 便利で快適なまちづくり

1. 道路交通体系の整備

岱明玉名線

事業費・・・600,000千円

担当課・・・土木課



岱明玉名線（一部完成）

新市域の骨格を形成する幹線道路は、東西方向に走る国道208号及び国道501号を位置づけ、岱明玉名線を南北方向の幹線道路として整備しています。

これにより、主要な交通結節点を結ぶアクセス道路として、物流及び交通の活性化に寄与するよう努めます。

現在、国道501号から県道長洲玉名線までの2,600mが完成し供用開始をしているところであり、残りの国道208号線までの1,100mを平成27年度完成予定で事業を進めているところです。

小浜繁根木線

事業費・・・12,000千円

担当課・・・土木課

玉名市の中心市街地と豊水・大浜地区及び松木・六田地区を結ぶ重要な幹線道路となるこの区間は、幅員が狭くセンターラインもないために、離合も困難であり、JR踏切周辺が交通渋滞を起こしている状況です。

そこで、地域住民の利便性を向上し、広域的には新幹線新玉名駅へのアクセス道路としての役割を果たすため、道路を拡幅し歩道を設け、交通渋滞緩和と歩行者の安全を確保します。

事業年度 H23～H27年度

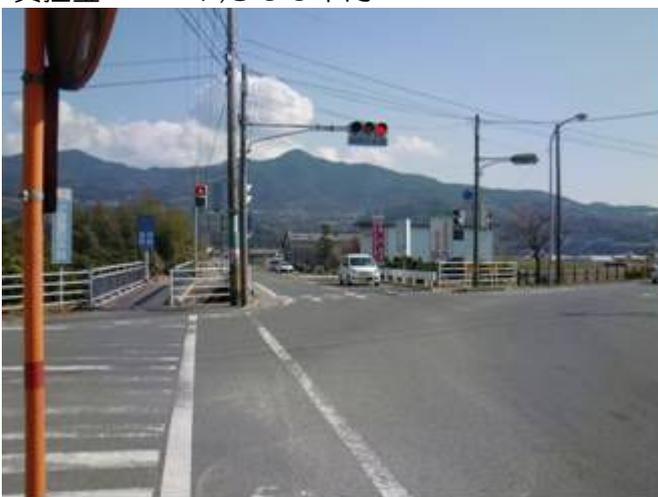
総事業費 500,000千円



県営道路事業負担金

負担金・・・7,500千円

担当課・・・土木課



県道熊本玉名線

この事業は、毎年市からの要望を基に県が計画的に行う事業で、県道に関する道路の拡幅、側溝の改良、舗装を新しくするなど、利便性の向上と安全の確保を目的に改善を行う事業であり、その事業に対する費用の一部を市から負担しています。

1. 便利で快適なまちづくり

都市計画道路の整備

事業費・・・30,011千円

担当課・・・都市計画課



立願寺横町線（一部完成）

都市計画道路は、市民のみなさんが安全で便利が良く、快適に暮らせるようにするための、将来のまちづくりの基盤となるものです。このため、時代にふさわしい見直しを図りながら、計画的な整備を進めています。

【主な事業】

立願寺横町線：期間 H18～H24 年度

九州新幹線鹿児島ルート全線開業に伴い、九州新幹線新玉名駅から温泉街、公共文化施設集積ゾーン、市街地、国道 208 号線へアクセスする道路を整備します。

都市計画区域見直し及びマスタープラン策定事業

事業費・・・14,878千円

担当課・・・都市計画課

玉名市の都市計画区域(案)

現在の玉名市では、玉名都市計画区域と長洲都市計画区域の岱明地区の 2 つにわかれていますので、H23 年度末までに玉名市大浜町大栄地区を加え、一つの玉名都市計画区域に統合の予定です。

玉名市全域を一体の都市として、誰もが暮らしやすく、快適なまちづくりを計画的に進めるために都市計画基礎調査を行い、新都市計画区域内において都市づくりの将来ビジョンを確立し、都市計画の指針として具体的に明示し、整備等の方針を明らかにするため都市計画マスタープランの策定を行います。

H23 基礎調査分析、住民意向調査

H24 全体構想の検討・策定

H25 地区別構想の検討・策定

都市計画マスタープランの決定



県営農免道路整備事業負担金

負担金・・・3,000千円

担当課・・・農林水産政策課



北牟田尾田農免道路

熊本県が行う農業農村整備事業の事業費の 10%を玉名市が負担します。

この事業により農道を整備し、広域流通施設の機能を発揮させ(流通コストの削減及び高品質農産物の生産による生産性の向上)、地域農業を活性化させる事業です。

1. 便利で快適なまちづくり

生活道路網の整備

担当課・・・土木課

事業費・・・473,066千円

道路整備費

・・・382,759千円

道路維持管理費

・・・90,307千円

生活道路網の整備では、市道の拡幅工事を行ったり、舗装を新しくするなど、市民生活に最も密着した生活道路を計画的に整備し、市民の利便性の向上と安全の確保に努めています。

道路維持では、市道の安全を守り、快適に利用できるよう、市内のパトロールを行い、破損箇所等の補修・除草(一部)、市道に付随する街路樹・街路灯・地下道などの維持管理を行っています。また、地元住民で、里道・水路を整備、補修される際必要となる機械借上げ、原材料の支給を要綱に基づき行っています。



○拡幅後舗装及び側溝を新しくした市道です。



橋りょう整備事業

担当課・・・土木課

事業費・・・41,114千円

橋りょう整備事業とは、老朽化した橋りょうの長寿命化や耐久性の向上のため、構造物の劣化の予防や補修等を行う事業です。これにより、橋りょうの安全性を確保し、通行車両や歩行者・自転車等が安心して通行できるように努めます。



1. 便利で快適なまちづくり

福祉送迎バス事業

事業費・・・6,039千円

担当課・・・高齢介護課

旧玉名市で運行されていた福祉センターへの送迎に加え、合併後29人乗りのバスを購入し、平成19年4月から旧玉名市、旧3町の市民(高齢者)の交流を図るため、福祉センターから岱明、横島、天水の温泉施設への運行を開始しました。

福祉バスは、これまで自家用車や公共機関の利用が困難な高齢者を、温泉施設に通うことができるようにすることにより、地域間の交流、生きがい作り、健康増進につなげることを目的としています。

現在は、各地区と福祉センター、福祉センターと草枕てんすいなどを往復する14コースを運行しています。



各温泉施設を結ぶ福祉バス

地域の公共交通の確保

事業費・・・57,967千円

担当課・・・地域振興課



日常生活に不可欠な路線バス

(地方バス)

住民の移動手段として必要不可欠な公共交通としてバス事業者に補助金を交付することで、路線バスを運行し、地域の生活交通の確保や福祉の向上を図ります。

なお、九州新幹線全線開業に合わせ、新玉名駅への乗り入れ、玉名温泉街のバス停新設、北稜高校や玉名高校方面への路線変更などを実施しました。

・地方バス路線維持費等補助金 55,938千円

(みかんタクシー)

玉名市天水町及び熊本市河内町において、路線バスの廃止に伴い、他に代替可能な公共交通機関がない地域の生活交通の確保を図ることを目的に、事前予約制の乗合タクシーを運行しています。

・天水・河内みかんタクシー運行補助金 2,029千円

3. 魅力ある住環境の整備

公営住宅改修工事等

事業費・・・239,680千円

担当課・・・住宅課

糠峯団地14~17号棟、天満町団地1~2号棟、柊木団地1~3、5号棟について、経過年数と共に老朽化し、剥離、ひび割れ、爆裂等による劣化した外壁の改修及び屋上等の防水工事を行います。

また、馬場原団地については、建築後39年を経過し老朽化した木造平屋建てで、全ての入居者が退去するにあたり解体します。

現在、市営住宅は31団地1,208戸を管理しています。この中には大倉・一本松団地等昭和30年から50年代に建てられた住宅が全体の約8割を占めており、劣化や故障等に伴う修繕が必要となっています。



糠峯団地



天満町団地



柊木団地



馬場原団地

1. 便利で快適なまちづくり

定住化促進事業

事業費・・・12,392千円

担当課・・・地域振興課

(定住促進補助金)

玉名市への移住者の増加を図るため、玉名市外から玉名市内に住宅を新築又は購入し移住される方に対して5年間で100万円の補助を行います。

さらに、住宅を購入された際にリフォームが必要な場合や、移住後に新幹線を利用して通勤される場合は、補助を加算します。

・定住促進補助金 10,300千円

(定住相談ブースの出展)

定住の促進は、「玉名市の魅力を高め、住みたいと思わせる」ことが基本であり、その上で全国に向けて玉名市の魅力を発信しながら定住へと結び付ける必要があります。

そこで、大阪や福岡の大都市圏において開催される定住関係のフェアに相談ブースを出展し、定住希望者へ直接情報を提供します。

・定住相談事業 292千円

新幹線でいってきま〜す

家族の顔が毎日見れるのが一番!

ひとり暮らしより**断然おトク!**

ゆっくり出来て**快適**だし、**安全**だから家族に心配かけずにすむし。

時間が正確だし、博多まで**最速33分**速い!

だから、家族も安心!
新幹線に乗って通勤・通学!!

新幹線エクセルパス

●この新幹線パスは、新幹線を利用する際の乗車券と併せて利用することができます。
●この新幹線パスは、新幹線を利用する際の乗車券と併せて利用することができます。
●詳しくは、お近くの駅でお問い合わせください。

JR九州

新幹線通勤定期券に補助する制度も導入

高齢者と子どものふれあい事業

事業費・・・2,759千円

担当課・・・高齢介護課



高齢者と子どもたちの交流の場となっている
一本松団地ふれあい交流館

現在、高齢化に伴う高齢者の生きがいづくりや、隣人関係の希薄化による高齢者の自宅引きこもりが危惧され、その対策が課題となっています。

一方で、少子化により兄弟の少ない子どもたちが増加しており、テレビやゲームなど一人遊びが主流で、ほとんどの子どもたちは昔遊びを知りません。

このような現状から、地域の高齢者が子どもたちに本の読み聞かせをしたり、高齢者と子どもたち合同での料理やお菓子作り教室、クリスマス会、楽しい昔話を伝える交流会などを開催することは大いに意義があります。

一本松団地ふれあい交流館では、子どもと高齢者との世代交流活動を地域ぐるみで推進し、高齢者の生きがいづくりを支援するとともに、子どもの健全育成を図ることを目的として、高齢者と子供のふれあい事業を実施しています。

交流館には、業務を受託する市社会福祉協議会の指導員2人が交代で日曜日、水曜日、祝日を除く日の午前10時から午後5時まで常駐しています。

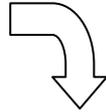
1. 便利で快適なまちづくり

ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業
事業費・・・4,000千円

担当課・・・住宅課



着工前



しゅん工

高齢者や障害者の方をはじめ誰もが円滑に利用できる建築物の整備を促進するために、民間の事業者の方が、ユニバーサルデザイン計画書(誰もが利用しやすい建物となるように、すべての人に簡単・快適・安全などの基本的な視点について、施設整備の考え方や具体的な整備内容を記載した計画書)に基づき、国のバリアフリー法や熊本県のやさしいまちづくり条例に定められた、玉名市内の不特定多数の人が利用する建物を改修する場合に、補助対象となる経費の2/3を交付します。

なお、限度額は400万円で、建物の用途によっては補助の対象とならないものもあります。

4. 公園・緑地等の整備

公園管理事業

事業費・・・74,789千円

担当課・・・都市計画課
土木課

花しょうぶが咲く裏川水際緑地

玉名市には、蛇ヶ谷公園や桃田運動公園、岱明中央公園、6月になると花しょうぶが咲く裏川水際緑地、山の上展望公園、実山公園、それぞれの地区に配置されている街区公園などがあります。

市民のみなさんが、公園を憩いの場として、また、レクリエーションやコミュニティ活動の場として安全・安心に利用できるように、日常の管理や遊具施設の修繕などを行っています。



山の上展望公園ビッグジャングルジム



農村景観が一望できる実山公園

1. 便利で快適なまちづくり

公園整備事業

事業費・・・33,498千円

担当課・・・都市計画課



本事業は、老朽化した都市公園の施設や園路を再整備し、公園利用者の安全を確保すると共に利用促進を図るものです。
都市公園のバリアフリー化及び長寿命化計画に照らした施設の改築・更新を行うものです。

- 裏川水際緑地公園(休養施設改修工事)
- 岱明中央公園(テニスコート人工芝等)

改修予定の岱明中央公園(テニスコート)

花の都づくり推進費

事業費・・・6,701千円

担当課・・・都市計画課

季節の花々を、丹精こめて種から育てています。育てた花は、菊池川河川敷駐車場・蛇ヶ谷公園・桃田運動公園・裏川水際緑地・市役所庁舎内の花壇へ植え付けています。

また、まちづくり委員会や小中学校などの、花のまちづくり活動をしている団体に、種・土・肥料などの材料支給をして活動のお手伝いをしています。育てられた花は校区ごとの花壇に植えられて、玉名のまちを彩ります。冬から春にかけてはパンジーやハボタン、初夏から秋にかけてはマリーゴールドやサルビアの花がきれいです。これからも、さらなる「花の都玉名」づくりを進めていきます。



新玉名駅前の花壇



校区ごとにある花づくりのハウス



まちづくり委員会手づくりの花壇

花づくり会補助金

事業費・・・600千円

担当課・・・横島市民福祉課

「花づくり生き生きハウス」を利用し四季折々の花を栽培することにより、市民の健康づくりや環境美化に対する関心を高め、心豊かな住みよい生活環境づくりと高齢者の引きこもりを防ぐための介護予防の一環として、花いっぱい運動を推進しています。



市内各地がきれいな花で飾られます。

1. 便利で快適なまちづくり

花苗栽培事業

事業費・・・2,500千円

担当課・・・天水総務振興課

花工房てんすいでは、「花の館」近くの育苗ハウスで苗を育て、道路沿いや、公共施設、ポケットパークなどへ季節の花を植栽することを活動の中心に置いて、花いっぱい運動を展開しています。また、小中学校の新入生や独り暮らしのお年寄りなどに鉢植えをプレゼントしたり、各種イベント会場を花で飾るなど様々な活動をしています。

草枕温泉入り口前の花



花苗配布用準備の様子

5. 情報・通信基盤の整備

情報・通信ネットワークの整備、情報サービスの充実

事業費・・・152,955千円

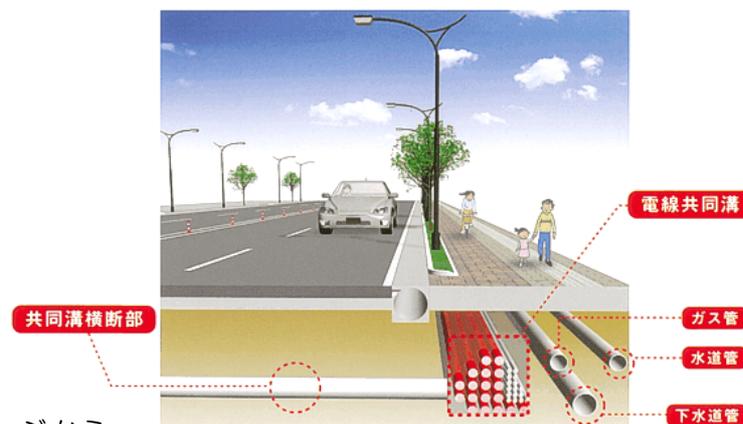
担当課・・・情報管理課
秘書課

住民票、印鑑登録、市民税や固定資産税などの各種情報、福祉情報等様々な情報を電算処理により管理しています。その電算システム及び機器の保守を行い、システムの安定稼働及び市民サービスの向上を目指します。

また、国道208号の玉名市高瀬から玉名市中までの区間で、国土交通省の事業として電線共同溝事業が実施されました。電線共同溝とは、道路上の電力線や通信線を地中化するために、地下に敷設される管路のことです。電力線や通信線を地中化することによって電柱が撤去されるため、都市景観の向上や歩道の安全性の向上が図られます。さらに、地中化することにより、台風などの災害の影響を受けにくくなるため、断線などの被害が少なくなります。玉名市もこの区間に、市の各施設や小中学校を相互に接続するための光ファイバケーブルを敷設していますので、この事業に共同参画し、光ファイバケーブルの地中化を進めていきます。

その他、本市の行政情報や地域情報を広く内外に発信するため、ホームページの保守事業等を行います。

電線共同溝イメージ図



～国土交通省ホームページから～

地上デジタル放送電波障害対策事業

事業費・・・26,647千円

担当課・・・生活安全課

現在放送されている地上アナログ放送は、平成23年7月に地上デジタル放送へ移行します。この地上デジタル放送の受信が地理的に困難な地域「地上デジタル放送難視聴地域」に対して、難視聴の解消の目的で、共同受信施設及び個別受信施設の設置に対して支援を行います。

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

1. 自然環境の保全

豊かな自然環境の保全

担当課・・・環境整備課

事業費・・・3,775千円

本市の豊富で良質な地下水を保全するため、県と連携して地下水の採取量の報告書の提出を求めるほか、水質検査を実施し地下水の汚染防止と保全対策を推進します。

菊池川流域同盟の活動においては、河川水質調査、事業所排水調査、廃油石鹼の利用促進、水環境功労者表彰、水援隊研修のほか、「菊池川の日」啓発事業を実施し、環境団体と連携して河川浄化の意識の啓発を行っています。

また、河川等での水質事故(油流出)や各種公害については、関係機関との連携による迅速な処理に努めます。

【主な経費】

環境保全及び公害対策関係費 503 千円

地下水・河川水・土壌調査等 645 千円

菊池川流域同盟負担金 1,120 千円

水援隊報償費 600 千円

菊池川と裏川を美しくする会報償費 50 千円

繁根木川を美しくする会報償費 50 千円

廃油石鹼製作経費 807 千円



菊池川流域同盟の菊池川の日啓発事業

2. 環境保全への意識啓発

エコの環たまな補助金

担当課・・・環境整備課

事業費・・・500千円



エコの環たまなの環境教育指導者派遣事業

市民や団体、企業と連携し、玉名地域における環境問題への意識啓発及び広報活動を行うことで、地域の実情に即した地球温暖化対策の推進を図ることを目的としています。今年で玉名地球温暖化対策地域協議会「エコの環たまな」が設立されて4年目を迎えます。

学校等への環境教育指導者の派遣、緑のカーテン事業、生ごみの堆肥化の推進、菜の花・ひまわりの推進など各種温暖化対策事業を展開していきます。

【主な経費】

エコの環たまな補助金 500 千円

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

3. 新エネルギーの導入

太陽光発電設置補助事業

事業費・・・30,000千円

担当課・・・環境整備課



市内における太陽光発電システムの設置例

新エネルギーの利用を促進し、地球規模の環境問題である地球温暖化対策に貢献するとともに持続可能な都市づくりを推進するために自ら居住する住宅に太陽光発電システムを導入する市民の皆様に対し、設置費用の一部として1kW当たり3万円(5キロワット上限)を助成します。

【主な経費】

住宅用太陽光発電システム設置費補助金
30,000千円

4. 上水道・下水道の整備促進

水道事業

事業費・・・1,247,083千円

担当課・・・水道課

水道事業・簡易水道事業は、市民の皆さんに清潔で安全な水を供給するため、水道料金を主な財源として、既存の水道施設の維持管理を行い、また水道未普及地域への水道施設の新設や老朽化した水道施設の更新などを行います。

上水道事業会計(玉名・岱明地区 事業費:1,166,732千円)

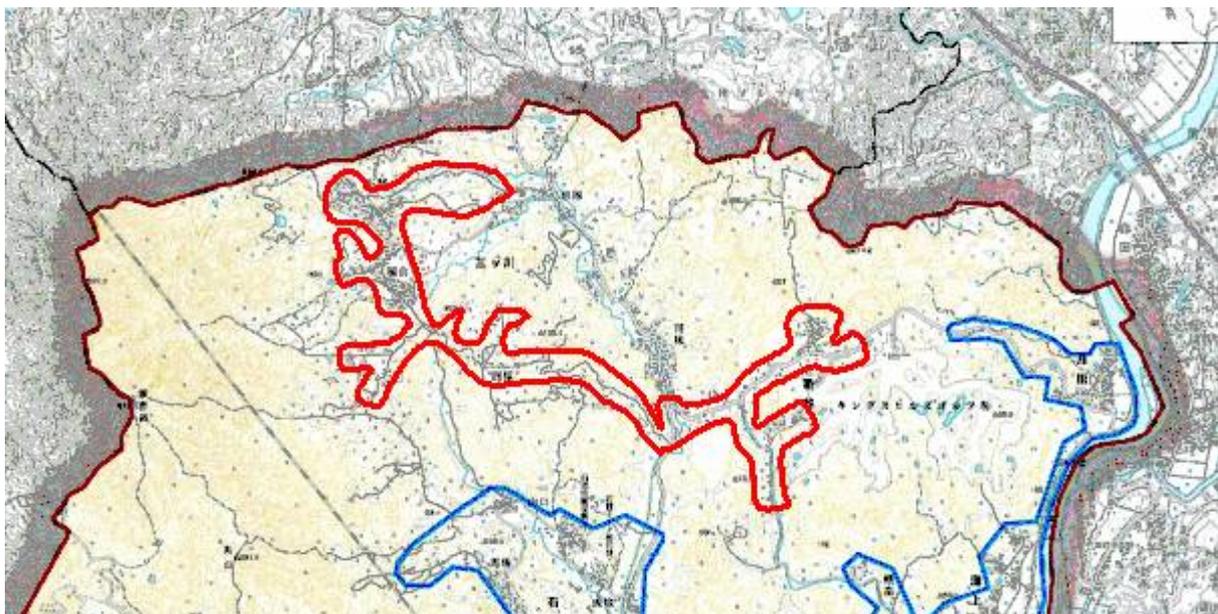
【主な事業】

- ・三ッ川地区簡易水道施設整備事業他 <<240,034千円>>
- ・雲雀丘地区配水管布設替工事他 <<47,000千円>>

簡易水道事業会計(天水地区 事業費:80,351千円)

【主な事業】

- ・天水町東地区配水管布設替工事 <<40,530千円>>



箱谷・三ッ川地区簡易水道施設整備事業区域図

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

下水道事業会計

事業費・・・2,401,770千円

担当課・・・下水道課

合併による区域の変更に伴う計画の見直しを行うことで効率的な下水道整備促進を図ります。

【主な事業】

- ・下水道整備促進事業(事業費 210,000 千円)・・・事業認可を受けた区域内で未整備地区に下水道管を設置する工事を行います。平成 23 年度は、旧玉名市の玉名地区や旧岱明町の西照寺・高道地区などの整備を計画しており、生活環境の改善を図っていきます。(H23 整備予定面積:10.56ha、管渠延長:2,369.8m)
- ・玉名市浄化センター改築更新事業(事業費 454,700 千円)・・・老朽化して稼働効率が悪くなった機械・電気設備等を新しいものに入れ替え、汚水処理がスムーズに行えるように努めます。
- ・下水道施設維持管理業務(事業費 278,024 千円)・・・管渠や処理場の維持管理や修繕等を行います。
- ・長寿命化計画策定事業(事業費 10,353 千円)・・・老朽化した管渠やマンホール等の施設を一体的に管理し、計画的でかつ効率的な改築を実施するための具体的な計画を策定します。
- ・新玉名駅周辺検討業務(事業費 4,000 千円)・・・九州新幹線全面開通に伴い、新玉名駅周辺の公共下水道事業整備の検討を行います。



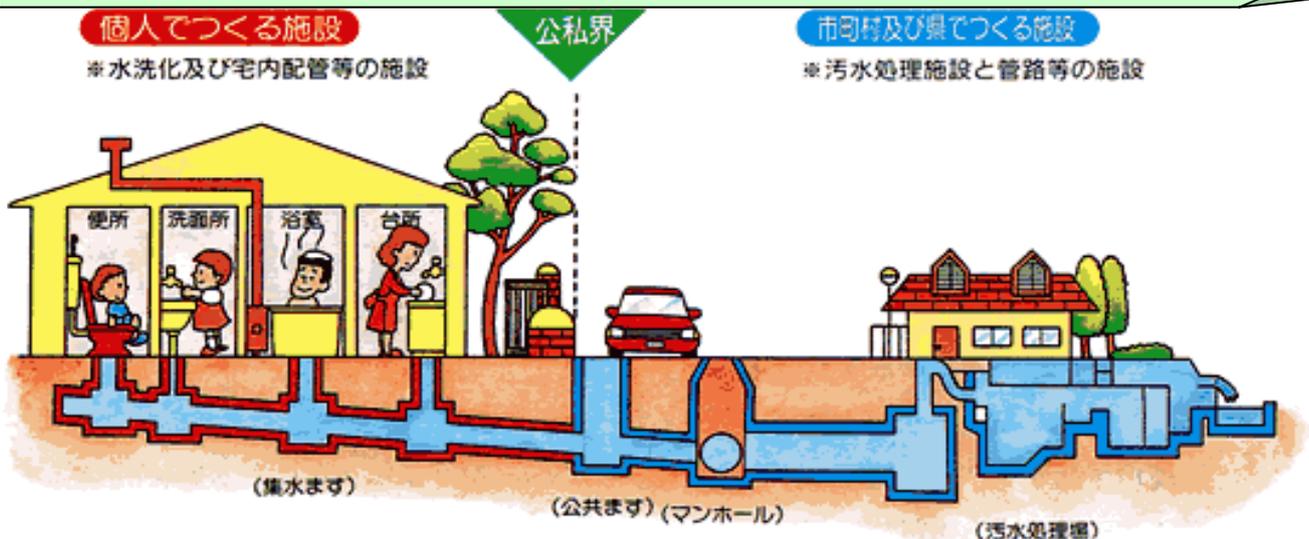
玉名市浄化センター内汚水処理施設

農業集落排水事業特別会計

事業費・・・348,411千円

担当課・・・下水道課

農業集落排水資源循環統合事業は、採択を受けた区域内の下水道を整備することにより、農村環境改善を目的として行うものです。平成 23 年度は、横島町 5 地区(横島、栗の尾、京泊、九番、大開)、天水町 3 地区(尾田、竹野、尾田川左岸)の処理施設維持管理及び農業集落への普及促進を行います。



浄化槽整備事業特別会計

事業費・・・36,178千円

担当課・・・下水道課

浄化槽整備事業は、旧天水町の農業集落排水事業区域外で、設置者の申請により玉名市が合併浄化槽の設置及び維持管理を行うものです。平成 23 年度は合併浄化槽 20 基の設置を計画しています。

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

浄化槽設置整備事業

担当課・・・下水道課

事業費・・・84,624千円

浄化槽設置整備事業は、旧玉名市、旧岱明町の公共下水道事業区域以外、旧横島町の農業集落排水事業区域以外(ただし、7年以上下水道事業が実施できない区域は除く)で申請があった合併浄化槽設置について補助を行うものです。平成23年度は160基の補助を計画しています。

5. 安全安心なまちづくり

地域防災組織及び防災体制の強化

担当課・・・総務課

事業費・・・1,012,893千円



訓練に励む消防団員

複雑多様化する災害態様に対応するため、常備消防の充実・強化を図るとともに、地域防災組織の要である玉名市消防団の充実強化を進めます。

また、防災行政無線の充実及び自主防災組織の促進を図り災害に強いまちづくりを目指します。

【主な経費】

有明広域行政事務組合消防費負担金

848,879 千円

消防団等の経費 132,155 千円

消火栓等消防施設整備 7,994 千円

防災無線等の経費 23,222 千円

防災訓練に係る経費 323 千円

交通安全対策の強化

担当課・・・生活安全課

事業費・・・23,316千円

交通安全対策については、危険箇所へのガードレールやカーブミラーの整備を図り、歩行者への安全を確保するとともに、円滑な交通環境を整えます。また、玉名市交通指導員を中心とした安全活動を強化し、啓発活動などと併せて交通事故発生件数を減少させるよう、総合的な交通安全対策を行います。

また、AT ワンペダルの取付け費用の一部を補助し、全国的に多発するオートマチック車のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故の防止に努めます。

【主な経費】

交通指導員 4,373 千円、交通安全施設工事・修繕 11,000 千円、交通災害共済事業 3,593 千円

AT ワンペダル整備費補助金 1,000 千円



アクセルとブレーキを兼用する AT ワンペダル



交通安全運動キャンペーンに臨む交通指導員

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

防犯対策の強化

事業費・・・18,634千円

担当課・・・生活安全課



地域の安全を見守る防犯パトロール

「安心安全都市 玉名」を目指し、行政区等の団体が維持管理している防犯灯に対する助成をはじめ、防犯団体への支援を行い地域の防犯力を高めます。

【主な経費】

防犯等設置・電気料補助金 10,204千円
防犯協会負担金 5,164千円
防犯補導員、防犯指導員経費 1,203千円

JR 駅（大野下駅・肥後伊倉駅）管理事業

事業費・・・5,280千円

担当課・・・地域振興課

JR九州の経営改善に伴い、平成22年4月から大野下駅と肥後伊倉駅は、「簡易委託駅」として玉名市と地元で管理運営を行っています。

駅利用者の安心安全に努めるとともに、コミュニティー形成の場として地域に親しまれ特色のある駅の運営を行います。



JR肥後伊倉駅

災害時要援護者管理システム

事業費・・・110千円

担当課・・・総合福祉課
高齢介護課

大規模な災害時において、自力で安全な場所へ避難することや、情報入手したり発信したりすることが困難な人、医療措置や装具などが常に必要な高齢者、障害者等の方々を災害時要援護者として支援する事業です。

平成20年度に発足した事業で、災害時要援護者登録申請をされた登録者の方々の情報を、一人ひとりの支援プラン（個別計画）としてシステムに入力し、平成23年3月1日現在で、1,510の方が登録をされています。

平成23年度、随時対象となる方々への周知等を行い、災害発生時において更なる避難体制の充実を図ります。

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

玉名平野地区排水路整備事業
事業費・・・123,711千円

担当課・・・農林水産政策課



洪水時期に農地の湛水被害や道路冠水が発生する玉名平野地区の排水対策事業を行います。本年度は河崎地区の排水路の整備を行います。事業費の負担割合は、国40%・市60%です。

岩崎導水路改良工事

河川事業
事業費・・・59,407千円

担当課・・・土木課

河川事業では、排水樋管の操作管理の委託及び市の準用河川等の浚渫や、河川・海岸砂防関係事業の促進期成会等とともに河川災害の防止を図るものであります。

また、悪用水路事業として、土水路に構造物を設置することにより、雑草や葦等の繁殖や汚泥の堆積を防ぎ、排水のスムーズな流れを確保する事業です。これにより、臭気や蚊、ハエ等の発生を軽減し、衛生的な周辺環境を築き、大雨や洪水時の冠水被害を最小限に留めます。

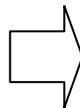
事業内容

- ・尾田川護岸除草
- ・排水樋管操作管理
- ・河川浚渫
- ・悪用水路改修
- ・負担金(境川、唐人川、菊池川、県河川、その他)

【悪用水路事業例】



着工前



竣工

II. 人と自然にやさしい環境のまちづくり

6. ごみ・し尿処理と再資源化の推進

循環型社会システムの構築

事業費・・・3,561千円

担当課・・・環境整備課

循環型社会システムの構築を目指して、3R(ごみの抑制、再利用、再資源化)の普及啓発と、ボランティア団体などの支援に努めます。

【主な経費】

ごみ減量化啓発チラシ等の作成	1,961千円
生ごみ処理機等購入費補助金	1,600千円



住民による資源ごみのコンテナ回収作業
(岱明総合支所)

ごみ処理システムの確立

事業費・・・920,772千円

担当課・・・環境整備課



パッカー車によるごみ収集作業

ごみの減量と分別ルールの徹底に努め、出されたごみと資源物は、有明広域行政事務組合立の東部環境センターとクリーンパークファイブ等へ収集運搬して処理し、リサイクルを推進します。

不法投棄については、パトロールの強化などを図り減少に努めます。

【主な経費】

有明広域行政事務組合清掃関係負担金	729,797千円
ごみ処理経費	147,538千円
不法投棄物監視回収委託料	4,828千円
ゴミ袋の作成と販売に関する経費	38,609千円

し尿処理施設の充実

事業費・・・570,456千円

担当課・・・環境整備課

玉名市し尿処理場及び有明広域行政事務組合立の第1衛生センターにおいて、し尿及び浄化槽汚泥を処理し、処理後の汚泥は堆肥化を図ります。

玉名市し尿処理場は、老朽化と処理能力が不足しているため、平成22年から23年度にかけて公共下水道との連携した前処理施設の施設整備を行います。

【主な経費】

有明広域行政事務組合衛生費負担金	78,396千円
有明広域行政事務組合衛生施設建設費負担金	4,528千円
し尿処理費	54,004千円
し尿前処理施設建設費	433,528千円



し尿処理場

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

1. 学校教育の充実

コミュニティ・スクール推進事業
事業費・・・300千円

担当課・・・教育総務課

学校内に、保護者や地域住民の権限と責任を持って学校運営に参画することや、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させる組織である学校運営協議会を立ち上げ、学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育の実現に取り組みます。

教育研究所費
事業費・・・329千円

担当課・・・教育総務課

県内各教育研究所と密接に連携を図りながら、教職員の研修を助成し、教育現場に直結する問題の研究解明と資料の作成提供・活用に努め、本市教育の振興に寄与するための事業です。研究部員は、玉名市の各小・中学校の教職員概ね87人から構成し常に実践の上に立った研究を行い、教育に対する社会の要請をとらえながら、問題意識を高めて、よりよい教育現場の実践者になるための研究を行います。

特色ある学校づくり事業
事業費・・・600千円

担当課・・・教育総務課

玉名市内の児童・生徒の学力向上及び健全な心身の育成を図るため、学校及び地域の実態に即して実践的に研究を推進し、その成果を発表することなどにより、市内の教育振興に資するため補助金を交付しています。

適応指導教室指導員活用事業
事業費・・・2,998千円

担当課・・・教育総務課

中学生のいじめや不登校、問題行動は、学校や家庭だけでなく深刻な社会問題となっています。これらは、子どもたちの人格形成上はもちろん、命にもかかわる深刻な問題であり、緊急かつ適切な対応が求められています。

いじめ・不登校等の解決のためには、生徒同士や生徒と教師との信頼関係の確立が大切であるとともに、学校で子どもたちが楽しく伸び伸びと生活し、学習に落ち着いて取り組めるようにすることが重要です。

そのために、生徒が悩みを気軽に話せ、ストレスを和らげ、心にゆとりを持って学校生活を送れるよう、諸活動の支援を行う第三者的な存在として「適応指導教室指導員」を各中学校に配置し、相談及び集団活動に参加できるように自立を促し学校生活への復帰を支援します。

学校図書 of 充実
事業費・・・33,793千円

担当課・・・教育総務課

児童・生徒に豊かな心を育み、確かな学力を身に付け、よりよい人格を育ていく上で、学校図書室の果たす役割は大変大きいものです。

このため、玉名市においては、各小・中学校の図書を増やし、学校図書室の充実を図るため、図書室補助員を配置します。(小学校12人、中学校6人)



図書室補助員18名配置

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

特別支援教育支援員の配置事業
事業費・・・45,121千円

担当課・・・教育総務課

支援が必要と思われる児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組みを支援するという視点に立ち、児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うため、特別支援教育支援員を27人配置します。(小学校21人、中学校6人)

放課後子ども教室推進事業
事業費・・・1,184千円

担当課・・・生涯学習課

地域の方々の参画を得て、すべての子どもに放課後の安全で安心な活動拠点(居場所)を確保し、様々な体験活動や学習活動を行います。



放課後の体験活動の様様

学校の支援活動
事業費・・・1,586千円

担当課・・・生涯学習課



保護者や地域住民による学校支援ボランティアが、学習支援、環境整備、部活動支援など様々な活動を行います。また、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりに努めます。

支援活動(読み聞かせ)の様子

学校規模適正化事業
事業費・・・2,009千円

担当課・・・教育総務課

児童・生徒の数は年々減少しており、更なる学級数の減少や複式学級となる学校が増えることが懸念されています。児童・生徒が「生きる力」をはぐくみ、学校という集団生活を通してお互い切磋琢磨し学び合う環境の中で効果的な教育が受けられるよう、適正規模の調査及び検討をし、望ましい学校教育環境の整備を図ります。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

学校施設整備事業

担当課・・・教育総務課

事業費・・・98,543千円

学校施設は、子どもたちの生活の場であるとともに、地域住民の緊急避難場所としての役割を担っており、老朽化した校舎などの建替えや改修工事を行っています。今年度の主な事業としては、昨年度の耐力調査において、改築要件を満たす建物となった玉南中学校の体育館及び武道場の実施設計と睦合小学校の体育館外壁屋根改修及び校舎防水工事を実施します。

(着工前)



(完成)



改修工事が完了した大野小学校体育館

2. 社会教育の充実

生涯学習基盤の整備

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・60,101千円

現代社会においては急激な情報化や国際化、高度な技術革新など環境の変化に対応し、人間性豊かな生活をおくるための新たな学習活動が必要となっています。

このような中で、生涯にわたりゆとりと生きがいを持って豊かで充実した生活をおくり、自分の個性や能力を伸ばすことができるよう、拠点機能を備えた生涯学習施設・設備の充実を図ります。

また、様々な学習活動との出会いを提供し、市民一人ひとりの生涯学習に対する意欲の高揚と、生涯学習への参加の促進を目的に生涯学習フェスティバルや各種公民館講座を開催します。

生涯学習フェスティバル、公民館講座経費・・・3,810千円

公民館運営費・・・49,691千円

自治公民館施設整備費補助金・・・6,600千円



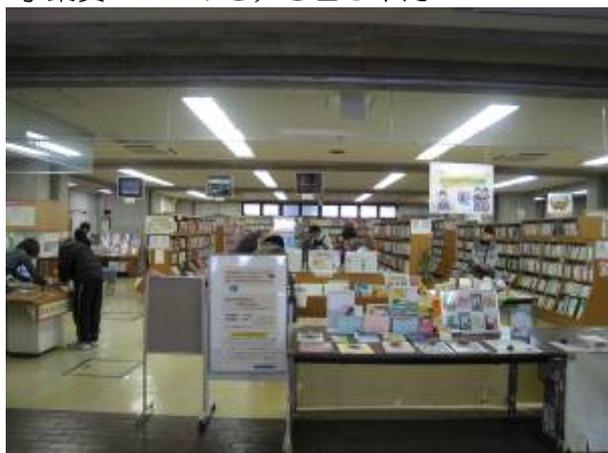
生涯学習フェスティバルでの舞台発表

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

図書館運営事業

事業費・・・78,820千円

担当課・・・生涯学習課



玉名市民図書館の様子

地域に密着し、親しみやすい図書館を目指し人格形成の基礎づくりと読書の推進に力を入れ市民の方が図書館に楽しく来ていただくよう努めています。さまざまなニーズに応えることができるように蔵書の充実とレファレンス等のサービス向上に努めています。

また図書システムの統合により、玉名市民図書館、岱明図書館、横島図書館、天水図書室のどの館も共通して利用ができ各館それぞれ特色のある図書館づくりに努力しています。

人権教育の推進

事業費・・・3,474千円

担当課・・・生涯学習課

様々な人権問題の解決を自らの課題としてとらえられるよう、一人ひとりがお互いを尊重し、命の大切さを実感できる「命の教育」を推進します。

また、同和問題を人権問題の基本としてとらえ、あらゆる人権問題解決のために、人権教育の一層の推進を図るため、講演会や研修会などを開催します。



人権教育研究大会の時の啓発パネルの様子

「なかよしの日」推進事業

事業費・・・1,000千円

担当課・・・生涯学習課



制定記念式典での「5つのなかよし宣言」の様子

子どもたちが安心して、安全に健やかに成長できるように、親が子を育てる喜び、子が成長する喜びを感じる社会づくりを進め、まずは大人が仲良くすることから始まり、家族・ともだち・学校・となり近所・地域全体の「なかよし」の「5つのなかよし」を基本理念として啓発推進する催しを企画します。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

人材育成基金助成金

担当課・・・地域振興課

事業費・・・1,500千円

玉名市の未来に向け、社会の各分野において指導者となる人材を育成する事業に対し、助成を行います。

1. 助成対象事業

- ①教育、文化、環境、福祉、産業等の振興に資する人材育成のための研修会等への参加又は研修会等の開催
- ②地域づくりの推進に資する人材育成のための研修会等への参加又は研修会等の開催

2. 助成対象者

- ①玉名市に在住する個人
- ②玉名市に事務所等を有する団体又はグループ

3. 助成額

助成額は、対象経費の総額から国・県等の助成額を除いた額の2分の1以内で、限度額は次のとおりです。

- ①海外研修 1人につき10万円、1団体等につき50万円
- ②国内研修 1人につき5万円、1団体等につき25万円
- ③研修会等の開催 1件当たり20万円



人材育成基金から助成して、「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」に参加

3. 社会体育の充実

社会体育施設の充実

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・76,493千円

【事業の内容】

スポーツを通じて、心身ともに健康なからだを保持することは市民共通の願いであり、健康づくりや体力づくりに励む市民を育てることは社会体育の大切な役割であります。玉名市においても市民が自ら運動に親しみ、スポーツを愛し、健康で活力ある生活を営む環境づくりを進めています。また、社会体育施設の充実を図るため、体育館やグラウンド等の管理体制の整備と、施設の修繕・改修について年次計画を立て、検討していきます。



子どもたちで賑わう B&G 海洋センタープール



桃田運動公園内にある玉名市総合体育館

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

生涯スポーツの推進

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・22,887千円

【事業の内容】

・スポーツ大会補助金

玉名市では金栗杯玉名ハーフマラソン(日本陸連公認コース)や市民マラソンとしては県内一の人気を誇る横島いちごマラソン、天水みかんと草枕の里スポーツまつりほか地域の街興しも兼ねたスポーツイベントが数多くあります。玉名市民はもとより広域の皆様にも参加頂き、思い出に残るようなイベントを行います。

・市民スポーツの振興

生涯スポーツを推進するため各種目のスポーツ大会やイベントを開催します。



金栗杯玉名ハーフマラソン大会



市民ワンバウンドふらば〜るボールバレー・ペタンク大会

社会体育の組織の強化と指導者の育成

担当課・・・生涯学習課

事業費・・・12,070千円

【事業の内容】

・社会体育の組織強化と指導者育成

体育協会(各種目)と連携を深め、選手育成やスポーツ指導者の資質向上を図ります。また、各校区の体育指導委員とともに、多くの住民が参加しやすいスポーツ行事の企画立案や地域に根ざしたスポーツ及びファミリースポーツの普及振興を図ります。

・県民体育祭への選手派遣

熊本県民体育祭水俣市葦北郡大会が平成23年9月17~18日(土、日)に水俣・葦北各会場にて開催されます。玉名市は昨年総合3位を上回る成績を目指し、選手の育成に努めます。



熊本県民体育祭荒尾市大会

4. 文化・芸術の振興

玉名の玉手箱事業

担当課・・・文化課

事業費・・・14,136千円



九州新幹線全線開業に伴い、玉名市の文化や歴史等の発信が急務となっています。毎週ラジオ番組を通して県内外に玉名市に関する情報を発信し玉名市の魅力アップを図ります。

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

歴史・文化施設の充実

担当課・・・文化課

事業費・・・37,664千円

玉名市には貴重な歴史的遺産が数多くあります。このすばらしい文化財を、史跡等の保存整備や公開などその保護と活用に努めています。

【主な事業】

- ・玉名市歴史博物館ころもピア(22,723千円)
様々な企画展、催し物、体験学習を開催し教育普及の拠点として、利活用の強化を図ります。
- ・指定文化財管理委託(3,372千円)
国、県及び市指定文化財の維持管理を行います。
- ・指定文化財標柱、説明板、誘導標識の設置業務委託(2,000千円)
指定文化財の活用を図るため、標柱、説明板や市内外から訪れる方々を文化財の所まで案内する誘導標識の設置を行います。



市指定文化財標柱、説明板の設置



高瀬町並みめぐり（体験学習）

文化芸術活動の推進

担当課・・・文化課

事業費・・・3,064千円

市民一人ひとりの自主性と創造性を尊重し、市民の文化意識の向上を図るとともに文化団体などへの支援を行い、文化芸術の向上に向けた取り組みを行っています。

毎年11月3日開催の玉名市民文化祭は、多くの市民が文化に触れる機会となっています。

【主な事業】

玉名市民文化祭 事業費 1,548千円



玉名市民文化祭 演舞

無形文化財、伝統芸能の支援

担当課・・・文化課

事業費・・・910千円



地域に残る優れた伝統芸能を後世に継承するため、保存団体とともに積極的に後継者育成に取り組むとともに、歴史や文化を学ぶ教育の素材とするほか、神楽、梅林流鎗馬、築山花棒踊り、大野下雨乞い奴踊り等の伝統芸能文化の保存のための補助を行います。

玉名市神楽フェスティバル

Ⅲ. 人をはぐくむまちづくり

5. 国際交流の推進

外国青年招致事業（ALT）
事業費・・・31,696千円

担当課・・・教育総務課

外国語教育の充実と地域レベルでの国際交流の発展のために、外国青年（Assistant Language Teacher）を招致し、小・中学校における外国語指導の補助や各種事業で活用します。



外国人講師による授業風景

国際交流活動の推進

事業費・・・5,810千円
国際交流活動の推進及び団体活動への支援
4,035千円
友好都市・瓦房店市公式訪問団派遣事業
1,775千円

担当課・・・企画経営課



玉名国際交流協会交流会の様子

国際交流活動を推進し、国際化の時代にふさわしい豊かな人間形成を図ります。

1. 主な国際交流団体への支援

- ①玉名国際交流協会・・・1,000千円
- ②グレン・ミラー音楽祭・・・1,500千円
- ③国際交流奨励補助・・・1,000千円

※玉名市に在住する者で、国際交流の促進のために国際交流に関する事業又は活動を行うものに対し1人当たり2万円（ただし1団体は25人を限度）を補助します。

2. 友好都市瓦房店市公式訪問派遣事業

玉名市と瓦房店市（中華人民共和国）は、友好都市を結び、これまで医療などを通じた交流を続けています。本年5月瓦房店市へ公式訪問団を派遣し友好都市としての親交を深めます。

6. 「音楽の都 玉名」づくり

音楽の都づくり
事業費・・・3,141千円

担当課・・・文化課

玉名市はグレンミラー音楽祭に代表される音楽が盛んなまちです。同様に音楽の都づくりの中核を成す玉名市民音楽祭は、「音楽」による感動、癒し、連帯感を高め、玉名市を楽しく住み良い場所にすることを期待して開催しています。この市民音楽祭は、立上げから企画、運営、出演まで市民が参加する機会をつくり、官民一体で音楽の裾野拡大を図ります。

【主な事業】

玉名市民音楽祭 事業費 2,355円



第4回玉名市民音楽祭の様様

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

1. 農林業の振興

主要農産物の振興（土地利用型作物）
事業費・・・39,703千円

担当課・・・農林水産政策課

米・麦・大豆の土地利用型農産物の経営安定を図るため、国の政策である水田経営所得安定対策（旧品目横断的経営安定対策）に伴う集落営農組織等の育成・推進及び米対策に取り組むとともに、その経営体の体質強化に必要な農業機械等の導入を支援します。

◇担い手育成推進事業費

事業内容：認定農業者及び集落営農組織の育成・推進

◇新需給システム推進事業

事業内容：需要に応じた米の計画的生産の推進

◇水田地域営農体制整備支援事業

事業内容：集落営農組織等の育成のための農業機械施設の整備

◇農業機械等整備事業補助金（普通作関係）

目的：農業の効率化、省力化等を推進し、農業者の経営安定を図る

補助対象経費：トラクター、コンバイン、田植機、
乗用管理機（防除機）

補助要件等：認定農業者、自作地以外の耕作面積が5ha以上、購入価格が100万円以上、補助率：市25%以内（補助限度額250万円/戸）



市農業機械等整備補助事業

担当課・・・農林水産政策課

主要農産物の振興（野菜）

事業費・・・27,790千円

本市の施設園芸は、トマト・イチゴを中心に地域ブランドとして全国でもトップクラスの生産量を誇る生産地です。安全安心な農産物を供給するための環境にやさしい農業への取り組みや、優良品種への転換、品種の統一、先進的及び省力化機械・施設の導入等により、施設園芸農家の経営安定を図ります。



強い農業づくり交付金による
ハウスリース事業

◇くまもと稼げる園芸産地育成対策事業補助金

事業実施主体：生産者団体

受益：83戸、34.6ha

事業内容：安定供給推進施設・栽培体系転換施設・災害防止施設・高性能省力機械等の整備

◇農業機械等整備事業補助金（施設園芸関係）

目的：農業の効率化、省力化等を推進し、農業者の経営安定を図る

補助対象経費：防油堤、省力化防除機、ハウス自動開閉装置、静電噴口

補助要件等：認定農業者（防油堤除く）

市補助率：防油堤 30%以内、省力化防除機・ハウス自動開閉装置 25%以内

補助限度額：防油堤 40千円/箇所、省力化防除機・ハウス自動開閉装置 150千円/戸、静電噴口 5万円/台

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

主要農産物の振興（果樹）
事業費・・・500千円

担当課・・・農林水産政策課

本市は、みかん栽培の盛んな地域です。省力化機械の導入など産地間競争力強化に向けた対策を推進し、農家経営の安定を図ります。

なお、別途、産地協議会を事業主体とする果樹経営支援対策事業により、優良品種への転換、園内作業道の整備など産地間競争力強化に向けた対策も実施されています。

◇農業機械等整備事業補助金（果樹関係）

目的：農業の効率化、省力化等を推進し、農業者の経営安定を図る

補助対象経費：スピードスプレーヤ、スプリンクラー防除施設、静電噴口

補助要件等：認定農業者、SSについては可動可能面積が3ha以上

市補助率：25%以内

補助限度額：スピードスプレーヤ 1,500 千円/台、スプリンクラー防除施設 60 千円/10a、静電噴口 5 万円/台

主要農産物の振興（畜産）
事業費・・・436千円

担当課・・・農林水産政策課

省力機械・施設などの導入による飼養管理の改善を図り、品質の向上に努めます。

また、畜産農家の経営を揺るがす伝染病の発生を未然に防ぐために、防疫対策の推進を図ります。

◇市家畜防疫対策事業補助金

補助対象経費：畜産農家が熊本県城北地区家畜自衛防疫推進協議会を通して飼養家畜に接種した、防疫対策(予防注射)に要する経費

市補助率：経費の25%以内(予算の範囲内)



省力化機械の推進を図ります



家畜の伝染病予防対策を推進します

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

6次産業推進事業

事業費・・・15,283千円

担当課・・・6次産業推進室

玉名市内の農林水産物を活かして、6次産業化(加工、販売まで)する事業者を支援し、産業力の向上と地域活性化を目的として、玉名市の6次産業化を推進します。

主な取組として玉名市6次産業活性化委員会設置を足がかりとし、1次、2次、3次産業の関係者を集めた玉名市6次産業推進研究会(仮称)を定期的に開催し、各産業の情報交換や交流を行い、6次産業に参入し易い環境整備を図ります。

また、玉名市6次産業推進補助金制度を確立して事業参入者に対して支援を行います。

環境にやさしい農業の推進

事業費・・・600千円

担当課・・・農林水産政策課

化学肥料や農薬の低減化を図り、また、畜産農家と米や野菜などを栽培している農家との連携による堆肥の有効利用を行うなど、環境にやさしい農業の取り組みを推進します。

また、ハウス園芸など、農業を営むことによって発生する農業用廃プラスチック等は、毎年多量に排出されており、現在、農協を中心とした地域的な回収体制のもと再生処理(リサイクル化)を基本に処理が行われています。今後も引き続き適正処理に向けた取り組みを推進します。

- ◇ 農業用廃プラスチック類処理対策協議会負担金
 - ・目的: 農業用廃プラスチック類の適正処理の推進
 - ・負担内訳: 市 600千円、JA たまな 650千円、JA 大浜 200千円、その他 95千円



エコファーマーのロゴマーク



有作くんの認証マーク

有害鳥獣捕獲事業

事業費・・・3,364千円

担当課・・・農林水産政策課



捕獲されたイノシシ

有害鳥獣による農林業等への被害が拡大しています。市有害鳥獣捕獲隊と連携して、イノシシを始めとする有害鳥獣の捕獲に努めます。

なお、平成20年度に関係団体による市鳥獣被害防止対策協議会を設置し、被害防止計画を策定したところです。同協議会を事業実施主体として、鳥獣害防止総合対策事業(交付金事業)にも取り組み、被害地域の実態に即した、より総合的かつ効果的な被害防止施策の推進に努めます。

また、平成22年度から有害獣の侵入防護柵(電気柵等)整備費の一部として1/3(上限有)の補助を行っています。

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

市土地改良事業

担当課・・・農林水産政策課

事業費・・・43,200千円

農道・農業用排水路の整備、補修を行います。
また、機械の借上、原材料の支給、地元で行う土地改良事業の一部補助を行い、農業生産の向上や農業経営の安定を目指します。

市土地改良施設整備事業

担当課・・・農林水産政策課

事業費・・・21,678千円

玉名市土地改良区が行った土地改良事業に対し補助します。
平成10年度から平成20年度に玉名市土地改良区が融資事業で行った農道整備、用排水路整備事業に関する償還金の補助を行っています。

県営土地改良事業

担当課・・・農林水産政策課

事業費・・・34,626千円

熊本県が行う農業農村整備事業の事業費を玉名市が一部負担します。負担の割合は事業によって異なりますが、事業費の5%～25%を玉名市が負担します。

食料を安定的に供給し、農業と農村の健全な発展を図るため、農業の生産基盤や農村の生活環境を整備するとともに、農地や土地改良施設の保安全管理を行う事業です。

【主な経費】

・県営海岸保全施設整備事業負担金	3,505千円
・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金	4,907千円
・県営農免道路整備事業負担金	3,000千円
・県営水田農業経営確立排水対策特別事業負担金	15,875千円
・県営ストックマネジメント事業負担金	2,500千円
・県営湛水防除事業負担金	4,839千円



県営六十丁地区排水路工事

排水施設維持管理事業

担当課・・・農林水産政策課

事業費・・・135,504千円

国営、県営で造成された排水施設の維持・管理について、負担及び補助します。

【排水施設とその役割】

当事業において排水施設とは、主に排水機場のことです。この施設は、河川及び排水路の水位のコントロールをしています。これにより農業を行ううえで不可欠な農業用水を安定的に供給しています。また、大雨等の災害時は洪水から周辺流域の人々の生命と暮らしを守り、流域の浸水被害を軽減する役割を果たしています。

【主な経費】 ・玉名平野地区湛水防除促進期成会負担金 79,684千円
・適正化事業拠出金 38,002千円 ・国営造成施設管理事業 11,973千円

農地・水・環境保全向上対策事業

担当課・・・農林水産政策課

事業費・・・23,803千円

農地・水・環境保全向上対策事業を行う37組織に対し、事業費の25%を補助します。

これまで地域の農家の方々が自ら行っていた農地や農業用水路などの資源保全のための共同活動へ支援を行う事業で、農業生産のための基盤を確保するとともに、農業農村の持つ環境や景観などの多面的な機能の向上を図るものです。事業費の負担割合は、国50%・県25%・市25%です。

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

村づくり交付金事業

事業費・・・63,392千円

天水地域が主体とするみかん営農と施設営農の効率的な生産環境を確立するため、農業排水路や農業用道路、集落道路の整備を行い、営農労力や維持管理労力の節減を図り、農業者の営農意欲の向上及び農業者の確保による持続的な農業展開を図ります。

また、市内全域の事業として、平成24年度採択を目標に事業計画を立てています。

担当課・・・農林水産政策課



受免地区排水路工事

農山漁村活性化プロジェクト交付金事業

事業費・・・96,246千円



団体営栗の尾地区排水路工事

排水路の整備を行うことにより、活力ある優良農地地帯の確保を図ります。

平成21年度から平成24年度にかけて、栗の尾地区及び六十丁地区の基盤整備促進事業(農山漁村活性化プロジェクト交付金事業)で排水路整備を行います。

大規模な排水路の整備を行うことにより、排水路の機能を向上させ、生産性の高い農地を確保するとともに、維持管理の節減を図り農業経営の向上を目指します。

また、農業農村整備事業を行う場合には、自然環境や景観環境を十分に配慮し、地区全体の環境作りも併せて推進します。

担当課・・・農林水産政策課

圃場整備事業

事業費・・・34,226千円

熊本県が行う農業農村整備事業(※)の事業費を一部負担します。

【主な経費】

- | | |
|------------------|----------|
| ・県営圃場整備事業負担金 | 23,800千円 |
| ・県営烏帽子地区圃場整備換地事業 | 3,701千円 |
| ・県営九番地区圃場整備換地事業 | 1,048千円 |
| ・県営大開地区圃場整備換地事業 | 4,542千円 |

担当課・・・農林水産政策課



烏帽子地区圃場整備事業

※農業農村整備事業とは

食料を安定的に供給し、農業と農村の健全な発展を図るため、農業の生産基盤や農村の生活環境を整備するとともに、農地や土地改良施設の保全管理を行う事業です。その中の1つに圃場整備事業があり農地や農業用施設の整備水準を高め農業経営の安定を図ります。

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

渇水対策事業

事業費・・・967,484千円

担当課・・・渇水対策室

鉄道・運輸機構による新幹線玉名トンネルの掘削工事に起因し、石貫及び三ツ川地区において、農業用水の減渇水の被害が発生し、その恒久対策施設整備としてため池を造り農業用水の安定した供給ができるようにします。



石貫3区ポンプ場

新たな経営安定対策への取り組み

事業費・・・50,403千円

担当課・・・農林水産政策課

平成19年度から導入された水田経営所得安定対策(品目横断的経営安定対策)をはじめ「新たな経営安定対策」への積極的な取り組みを推進するため、地域の担い手として認定農業者、集落営農組織等の育成・推進を図るとともに、担い手への農地の利用集積、計画的な米政策に関する円滑な推進に取り組みながら農業経営の安定を支援します。

- ◇ 担い手育成推進事業
 - ・事業内容: 認定農業者及び集落営農組織の育成・推進
- ◇ 新需給システム推進事業
 - ・事業内容: 需要に応じた米の計画的生産の推進
- ◇ 水田地域営農体制整備支援事業
 - ・事業内容: 集落営農組織等の育成のための農業機械施設の整備
- ◇ 担い手規模拡大事業補助金(市単独補助)
 - ・目的: 認定農業者に農地の集積を図り、生産性の高い農業構造の確立に資する
 - ・交付対象: 5年以上の賃借権設定、借手が市内在住の認定農業者、契約対象面積10a以上
 - ・助成単価(田・畑): 借手10千円/10a、貸手5千円/10a
- ◇ 耕作放棄地解消対策事業
 - ・目的: 耕作放棄地の解消による、農業生産力の回復及び農村景観の美化を図る。
 - ・市補助単価: 10千円/10a
- ◇ 戸別所得補償制度推進事業
 - ・事業内容: 農業再生協議会において、制度の推進を図る。

農地制度実施円滑化事業

事業費・・・1,115千円

担当課・・・農業委員会事務局

農業従事者の減少・高齢化、耕作放棄地の増加等が進む中で、国内の食料供給力の強化が喫緊の課題となっています。

農業生産の重要な基盤である農地を確保し、これを最大限に活用する観点から、平成21年12月に農地の賃借規制の見直しや、農地の面的集積の推進等を内容とする改正農地法が施行されました。

これに伴う新しい農地制度を円滑に実施するための事業です。

【事業内容】

農地の利用状況調査や、農家の意向調査(平成22年度実施)を元に、担い手への有効な農地集積を図ります。

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

郷〇市

事業費・・・3, 876千円

担当課・・・農林水産政策課



郷〇市・加工交流センター
「みかんの花」

郷〇市(ごうまるいち)は、国道 501 号線沿いにあり、地元の農産物及び加工品、工芸品など新鮮で安心な地場商品を提供している直売所です。玉名市天水町の 8 つの地域づくり女性団体が協議会を作り平成 16 年 4 月から運営しています。平成 21 年度に農産物の加工、販売所(郷〇市・加工交流センター「みかんの花」)を併設し、地元の特産品のみかんをはじめ、季節ごとの旬の野菜・果物を”安全・安心・新鮮”にお届けしたいと、地元産にこだわって加工販売しています。

また、環境問題にも取り組んでおり、EM活性液、廃油石ケン、ボカシも手作りし、マイバック運動も展開中です。

今年度は、県のふるさと雇用再生特別基金事業を活用した取組を行います。

磯の里の管理

事業費・・・3, 428千円

担当課・・・農林水産政策課

市では農水産業の活性化を促進し地域振興の拠点とするために岱明磯の里を設置しています。

主な事業としては、特産物の展示直売場の提供や各種イベント開催のための施設提供などを行っています。

その設置目的の更なる充実のために、民間のノウハウや経験などを活かし、安全で質の高いサービスの提供など利用者の利便性を高め、効率的で円滑な管理運営ができるよう指定管理者制度を導入しています。

平成 23 年 4 月 1 日から(株)三勢を指定管理者として、平成 25 年 3 月 31 日までの期間、施設の管理運営を委託しています。



磯の里の外観



春の潮風にのって
「松原海岸まつり」の様子

森林の多面的活用と林道整備

事業費・・・4, 572千円

担当課・・・農林水産政策課



森林の防火機能を高めるとともに、森林の多面的活用を増進するため、林道の維持管理・整備を図ります。中でも森林基幹道「東部小岱山線」(玉名市富尾～南関町宮尾間 9.5Km)については九州新幹線新玉名駅や南関インターチェンジへのアクセス道としての機能を発揮させるため、早期完成を目指します。

また、小岱山系と金峰山系の美化清掃などの自然保護活動等に努めます。

今年度開通の東部小岱山線

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

2. 水産業の振興

漁場環境の保全

事業費・・・18,000千円

担当課・・・農林水産政策課

水産物の生産性を向上させるために、質の高い生産と安全・安心な水産物が提供できる漁場の整備を図ります。

◇アサリ稚貝育成事業補助金

- ・目的:アサリ資源の増大を推進し、漁業者の経営安定を図る
- ・事業実施主体:本市地先漁場に漁業権を有する漁協
- ・対象事業:アサリの資源管理(稚貝の移殖等)、食害生物対策、干潟耕うん、稚貝着底施設(竹柵等)の設置など

◇県水域環境保全創造事業負担金

- ・県営事業として実施される覆砂事業に対して市5%、漁協5%を負担します。



稚貝育成場の整備

水産基盤整備の推進

事業費・・・7,367千円

担当課・・・農林水産政策課



玉名市には、新川漁港、大正開漁港、滑石漁港、大浜漁港、横島漁港の5つの漁港があり、ノリ養殖・アサリ採取に代表される漁業生産活動を支援するため、漁獲物の荷揚げや漁船の係留のための施設等を維持管理します。

内水面漁業の振興

事業費・・・950千円

担当課・・・農林水産政策課

内水面漁業(※)の振興を目指し、稚魚放流事業の取り組み等を通して、資源の保護・増大を図ります。

稚魚放流事業補助金

- ・目的:菊池川における漁族の保護と水質保全
- ・事業主体:菊池川漁業協同組合
- ・事業内容:稚魚放流(鮎、鰻、やまめ、しじみ、手長エビ、すっぽん、もくずカニ、わかさぎ卵、はえ、ふな)及び外来魚駆除
- ・補助金額:950千円



稚魚放流の様様

※内水面漁業とは
河川や湖沼などで行う
漁業及び養殖業

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

3. 製造業・工業の振興

企業誘致の推進

事業費・・・16,156千円

担当課・・・地域振興課

地域経済への相乗効果が得られるような優良企業の誘致活動に努め、地元への安定した就労の場の確保のために、九州をはじめとして関西、東海、関東方面の企業訪問を行います。

また、市内に新設又は増設した工場等が一定の条件を満たした場合、本市の産業振興と雇用機会の拡大を図ることを目的に奨励金等を交付するとともに、既に市内へ進出した企業へのアフターフォローを充実し、玉名に根付いた企業の活性化を図ります。



平成22年7月

(株)エヌエーエスコーポレーション本格稼働

地場企業の育成・起業家支援（中小企業振興預託金）

事業費・・・127,850千円

担当課・・・商工観光課

玉名市内の中小企業者の経営の安定と向上を促進するため、金融機関に運用資金を預け（預託）、中小企業者に対し融資を行っています。

- ・中小企業経営安定資金 用途・・・運転資金、設備資金 融資限度額・・・1企業者 800万円以内
- ・季節資金 用途・・・運転資金 融資限度額・・・1企業者 300万円以内

雇用対策

事業費・・・55,704千円

担当課・・・商工観光課

【事業の内容】

- ・緊急雇用創出基金事業・・・離職を余儀なくされた非正規勤労者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業。 玉名駅周辺緊急環境整備事業他 10事業
 - ・ふるさと雇用再生特別基金事業・・・地域の雇用再生のために、地域求職者等を雇い入れて行う雇用機会を創出する事業。 障害児保育看護師配置事業他 4事業
- それぞれの雇用については、公共職業安定所への求人申し込み等が必要です。

4. 商業の振興

消費者行政活性化事業

事業費・・・5,625千円

担当課・・・生活安全課

消費者の安全・安心を確保するために、消費者に身近な現場の消費者行政の充実が求められております。平成21年9月、国において消費者庁が創設されました。消費生活相談機能の強化として消費生活センターの設置を行います。また、消費生活トラブルの増加する中で、社会経験が十分でない若者やその保護者または、高齢者に対して、啓発の講演会を開催し、トラブルに巻き込まれないための心得や巻き込まれた際の対処法を知って頂きます。

さらに、多重債務問題は、単に消費生活相談という枠にとどまらない、市民生活上、深刻で重大な相談事項であり、多重債務問題の解決が健全な社会の形成に極めて重要であることから、法律の専門家等による相談日を設け、相談しやすい環境づくりを進めます。

- ・消費生活センター設置に係る経費 5,354千円
- ・設置時期・・・H23年6月
- ・設置場所・・・市文化センター1F



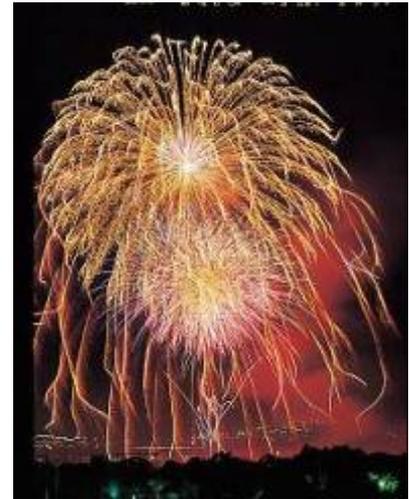
ひとりで悩まないで、まず相談を！

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

各店舗の魅力を高める商業・商店街づくり
事業費・・・29,111千円

担当課・・・商工観光課

- ・玉名商工会議所補助金・玉名市商工会補助金
地域経済団体として玉名市内の中小企業者の育成並びに中小企業支援事業等を推進し、会員及び地域商工業の振興・発展を図ります。
- ・玉名納涼花火大会補助金
県下最大規模を誇る花火大会となっており、市内外から多くの見物客でにぎわいます。
- ・玉名市商店会連盟補助金、伊倉商店会補助金
玉名市の商業団体の活性化と人材育成を目的として、研修・まちづくり・地域交流事業等を行い、各団体の個性ある活動と商業の活性化につながる活動等を支援します。
- ・玉名市商店街イベント事業助成金
夜市など賑わいのある商店街づくりを目指すイベント事業を支援し、商店街活動の活性化を図り、玉名市の商業の発展を促進します。
- ・商店街振興のための空き店舗等調査事業
商店街の活性化のため、空き店舗の実態調査を行います。
- ・中心市街地活性化事業
商業施設の跡地を有効活用し、中心市街地の活性化を図ります。



玉名納涼花火大会



商店街イベント事業

4. 観光の振興

九州新幹線活用事業

事業費・・・1,036千円

担当課・・・地域振興課

さまざまな立場の市民で構成する「九州新幹線プロジェクト戦略会議」を中心に、全線開業した九州新幹線を地域の活性化に結びつけるための方策を検討します。

また、新玉名駅開業後1年を祝うイベントを開催し、県北の玄関口としてこれからも幅広く活用され、また親しまれる駅を演出します。



西から望む新玉名駅



平成23年1月に市民広場公園で開催した新玉名駅開業イベント「薬草グルメグランプリ」

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

観光情報サービスのネットワーク化

担当課・・・商工観光課

事業費・・・14,935千円

新玉名駅の利用者の利便性を図るとともに、本市や県北地域の交流の場として駅舎に併設して観光ほっとプラザ「たまらら」を開設しました。主な用途としましては、観光案内、本市をはじめとする県北地域の観光案内や物産の販売、軽食の提供を行います。

また、近隣市町をはじめ県北・九州観光都市との連携強化を図り、歴史、文化、自然、景観、食、温泉などの豊富で魅力ある観光資源を活かした情報発信と誘客に取り組みます。

主な経費

- ・観光交流センター費(観光ほっとプラザ「たまらら」)・・・12,157千円
- ・熊本県北観光協議会負担金・・・318千円
- ・九州観光都市連盟負担金・・・45千円
- ・熊本県観光連盟負担金・・・560千円
- ・荒尾玉名地域観光推進協議会負担金・・・100千円



観光ほっとプラザ「たまらら」の内部



荒尾・玉名地域のパンフレット

特色ある観光地づくり

担当課・・・商工観光課

事業費・・・31,864千円

観光地の差別化による魅力向上を目指して、観光商品の開発、観光地・温泉旅館でのおもてなしの向上を図るなど、観光客のニーズを踏まえてリピーターの増加を促進します。

また、関係団体とタイアップし、温泉など市内観光施設をはじめ、高瀬裏川花しょうぶまつりなどの観光イベントへの誘客を図るため、関西以西をターゲットに観光客誘致キャンペーンの推進を図ります。

【主な事業】

- ・観光魅力アップ事業・・・5,700千円
- ・観光客誘致宣伝事業・・・3,052千円
- ・小岱山ふるさと自然公園管理事業・・・3,500千円
- ・高瀬裏川花しょうぶまつり補助金・・・800千円
- ・玉名大俵まつり及び岱明
横島・天水夏祭り補助・・・12,850千円



玉名大俵まつり



高瀬裏川花しょうぶまつり

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

特産・物産品の開発、販売促進
事業費・・・13,006千円

担当課・・・商工観光課
地域振興課

観光客の多様なニーズにこたえるために、各種団体と一体となり、多種多様な地元産品を生かし、「玉名ブランド」を創出するとともに、市内外での「玉名物産展」の開催を行います。

【主な事業】

地産フェア(5,919千円)

玉名の農産物・物産品・観光・自然・歴史を関東・関西・広島でPRし玉名市の魅力を発信、平成23年3月に開業した九州新幹線を利用して玉名へ行ってみようと思っていただけるようPRに努めます。また、関東・関西・広島在住の玉名市出身者の方へも、ふるさと玉名を再確認していただき、玉名市へ帰省を促し、将来的に玉名市に住みたいと思っていただけるよう地産フェアを開催します。

ブランド認定事業(475千円)

ブランド協議会にて農産品等のブランド認定を行います。H22年度までに25品目が認定されています。

城北6市共同誘客事業(5,547千円)

城北6市が共同で行う誘客PR事業であり、ヤードームを予定。同時に物産展も開催します。



地産フェアの様子



お土産「玉名ラーメン」

玉名ラーメン協議会補助金(400千円)

熊本ラーメンのルーツと言われている玉名ラーメン。市内のラーメン店が「玉名ラーメン協議会」を設立。スタンプラリーやお土産品としての「玉名ラーメン(3食入り)」を開発し、販売しています。「熊本ラーメン博」への出店も計画しています。

熊本県物産振興協議会負担金(521千円)

熊本の物産並びに観光振興を図る事業を行い、商工観光業の発展を育成・助成し、熊本県の経済発展に寄与することを目的としている協議会で主な事業として大阪阪神百貨店における物産展を開催しています。熊本市、玉名市ほか5市と県が構成団体となっています。

熊本県物産振興協会負担金(100千円)

県産品の販路拡大や斡旋、物産館等の運営、新商品の開発及び品質の向上並びに県産品に関する情報の収集・提供などを行っています。また、九州新幹線全線開業に伴い、関西圏域における物産展も開催しています。民間事業者、商工団体、自治体など約500会員で構成されています。



阪神百貨店物産展の様子

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

観光ツーリズムの開発

事業費・・・3, 101千円

平成 22 年度からの継続事業で、九州新幹線全線開業に伴い、玉名地域の情報を発信するとともに地域住民や観光サービス従事者等が玉名市の歴史・文化・観光を中心に総体的に「玉名市（郷土）の風土」の知識、理解を深め、地域全体でのおもてなし向上による魅力ある地域づくりに取り組むために「玉名人検定」を行います。

担当課・・・商工観光課



玉名人検定テキストブック

観光組織体制の強化

事業費・・・12, 848千円

担当課・・・商工観光課

- ・観光協会補助金(9,107千円)
観光事業の発展を図り観光客を誘致し、併せて郷土の特産品の宣伝紹介と観光地としての文化産業交通の発展を促進することを目的としている協会であり、玉名観光の戦略の要となっています。玉名への誘客のため、様々なイベントの実施や物産品の販売促進、接客術の向上のための「おもてなし研修」など多岐にわたり、本市の観光振興や物産振興を行っています。
- ・玉名温泉観光旅館協同組合振興補助金(3,500千円)
観光客の誘客に伴う広告宣伝及びイベントに関連する事業など組合としての基本的事業のほか、平成17年3月に策定した「玉名温泉活性化ビジョン」を基に、地域との連携により玉名温泉の活性化を目指しています。
- ・菊池川流域味まつり実行委員会補助金(100千円)
菊池川の恵みを掘り起こし地域活性化を図る目的で、菊池川流域(玉名・山鹿・菊池・和水)の温泉女将の会、物産館、道の駅等で構成される「味まつり実行委員会」。年1回「菊池川流域味まつり」を開催しています。米をはじめ菊池川をキーワードに流域の「味」を見つめ直し、育み、将来に伝えていきます。



玉名温泉あったか物語



立願寺公園(しらさぎの足湯)

IV. 活力とにぎわいのある産業のまちづくり

草枕交流館

事業費・・・9,256千円

担当課・・・商工観光課

夏目漱石の小説「草枕」と、その舞台となった前田家別邸にかかわる歴史及び文化を紹介するとともに、全国の漱石ファンを交えた文化の交流及び創造を図り、地域における観光の振興と産業の活性化を目的として、各種の事業を行います。

- 1 常設展示等の案内(一般から団体までの案内説明対応)
- 2 関連企画展等の企画と実施
- 3 関連資源を活用した研修会やイベント等の実施
- 4 前田家別邸ほか関連史跡などの管理
- 5 地域特性を活かした観光誘致企画の立案等
- 6 地域観光協議会やボランティア団体等との連携による観光推進



草枕交流館と展示物

ふるさとセンターY・BOX

事業費・・・0千円 (納付基本額として、330千円の入金があります)

担当課・・・商工観光課



ふるさとセンターY・BOX

市では産業振興・観光振興に資するため、玉名市ふるさとセンターY・BOX、玉名市横島農産加工研修センター、玉名市横島農業体験施設を設置しています。その設置目的の更なる充実のために、民間のノウハウや経験などを活かし、安全で質の高いサービスの提供など利用者の利便性を高め、効率的で円滑な管理運営ができるよう指定管理者制度を導入しています。

平成22年4月1日から平成26年3月31日までの期間、(有)横島町特産物振興協会を指定管理者としています。

草枕温泉てんすい

事業費・・・0円 (指定管理納付金として5,000千円の収入があります)

担当課・・・天水総務振興課

草枕温泉てんすいは、夏目漱石の天水町来町100年の記念事業として、平成9年5月1日にオープンしました。有明海一帯を眺望する露天風呂、大浴場のほか、漱石が入浴した前田家別邸の浴場を再現、小説をイメージした「草枕の湯」などを備えた施設は、県内有数の観光名所です。

現在、指定管理者制度を導入し、(株)池田建設を指定管理者としています。



草枕温泉てんすいの露天風呂

V. いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

1. 保健医療体制の充実

保健・医療供給体制の整備

事業費・・・480,368千円

担当課・・・保健予防課

公立玉名中央病院では、近隣市町の公立病院や玉名郡市医師会と連携し、休日・夜間の救急医療体制を確立し、市民に対する診療体制の充実を目指します。



公立玉名中央病院

疾病に応じた保健医療対策の推進

事業費・・・191,057千円

担当課・・・保健予防課



予防接種法に基づき、予防接種を実施しています。麻しん・風しん・破傷風・百日咳・ジフテリア・ポリオ(小児マヒ)・結核・日本脳炎・インフルエンザの発生及びまん延の防止に努めます。また、任意の予防接種ですが、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種も開始しました。

また、乳幼児期からの虫歯予防、歯周病予防などの歯科保健対策を推進します。

予防接種の様子

人間ドックの充実

事業費・・・16,708千円

担当課・・・保険年金課
保健予防課

平成20年度より各医療保険者に義務化された特定健康診査と、健康増進法に基づく各種がん検診を盛り込んだ人間ドックを満40歳から満74歳までの方を対象に実施し、特定保健指導対象者には、保健指導を実施するとともに早期発見・早期治療に努め国民健康保険医療費の削減を図ります。



2. 保健活動の推進

妊婦健診の充実

事業費・・・51,527千円

担当課・・・保健予防課



妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図ることにより、妊婦がより健やかな妊娠・出産を迎えていただくため、妊婦健康診査費用を助成し、母体や胎児の健康確保を図ります。

また、里帰り等で熊本県・福岡県以外の医療機関等において妊婦健康診査を受けた場合も補助し、すべての妊婦が安心して妊娠・出産できる体制を確保します。

V. いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

乳幼児・少年期対策

事業費・・・12,381千円

担当課・・・保健予防課



乳幼児健診の様子

子どもの健やかな心身の発育発達と親が安心して子育てに臨めるように節目となる4ヵ月・8ヵ月・1歳8ヵ月・3歳6ヵ月に乳幼児健診を定期的実施しています。健診および相談等にて支援が必要な乳幼児は早期に対応し、支援体制を図ります。

また家庭訪問および育児相談で育児不安等が軽減できるように努め、親育ち講座としてグループワークや座談会を通じた学習会等を実施し親支援を図ります。

青壮年期・中年期対策

事業費・・・140,896千円

担当課・・・保健予防課
保険年金課

40歳以上(子宮頸がんのみ20歳から)の各種がん検診を実施し、早期発見、早期治療に努めます。特に大腸がんと乳がんは、40歳～60歳・子宮頸がんは、20歳～40歳の5歳刻みの節目の人を対象に無料検診を促進します。

また、市町村国保で行う保健事業では、H20年度から始まった特定健康診査後、受診者を対象に結果説明会を実施し、健診結果から生活習慣を考えるきっかけとなるよう支援を図ります。さらに、内臓脂肪症候群の方への特定保健指導、慢性腎臓病(CKD)及び高血糖、高血圧の方を対象に個人に応じた保健指導の充実を図り重症化予防に努めていきます。また、18～39歳の青壮年代層の方へも特定健診同様の健診を行い、より早期に生活習慣病予防につなげるよう努めます。

【主な事業費】

健康増進事業費・・・45,601千円

レディース検診推進事業・・・11,408千円

大腸がん検診推進事業・・・5,164千円

検診事業費・・・3,934千円 国保保健事業費・・・59,048千円



住民検診の様子

食育の推進

事業費・・・222千円

担当課・・・保健予防課



食育体験コーナー(健康食育福祉フェア)の様子

子どもから大人まで健全で豊かな食生活を実践できるよう関係団体及び関係各課が連携を図り、食育を積極的に推進します。

施策の方向性として①望ましい食習慣の推進②規則正しい生活リズムの推進③家族で食卓を囲む習慣の推進④望ましい食への知識と技術の習得⑤生活習慣病予防の推進⑥地産地消の推進等に取り組みます。啓発事業として食育イベントや講演会を開催します。

V. いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

介護保険給付費・地域支援事業費

事業費・・・6,136,442千円

担当課・・・高齢介護課

介護保険給付費:介護や社会的支援が必要な人が、尊厳を保持し、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、必要な保健医療サービス及び福祉サービスを行います。保険給付でのサービスには介護サービスと介護予防サービスがあります。

地域支援事業:介護予防事業、包括支援事業及びその他の地域支援事業を行うことにより、要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援します。



通所リハビリテーションの様子

3. 社会福祉の充実

保育体制の推進

事業費・・・129,494千円

担当課・・・子育て支援課



築山学童クラブ室



玉名町学童クラブ室

保育所の保育時間を延長したり、保護者の仕事や疾病等による緊急時に一時預かりを行うなど、仕事と家庭の両立と子育てを支援する取り組みを進めています。

また、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年児童を放課後や夏期休暇等に預かる放課後児童健全育成事業や、子育てのお手伝いをしてほしい方(お願い会員)と子育てのお手伝いをしたい方(お助け会員)で組織され、お互いに助けたり助けられたりして子育ての相互援助活動を行うファミリーサポートセンター事業を行っています。これは、お父さんやお母さんが病気のときや急な残業で保育園や幼稚園の送り迎えを頼みたいときなどに利用できる制度です。預ける場合の利用料金は、1時間当たり、午前7時から午後7時までは600円、それ以外は700円で2人目は基準額の1/2、第3子以降は1日当たり2時間まで無料です。

平成23年度は、放課後児童健全育成事業の全体見直しを実施する中で、より安心安全な実施場所として玉名町小学校及び築山小学校の学校敷地内に、学童保育専用施設を新築し事業運営を行います。

また、利用者が少ない小学校において、できるだけ利用しやすいように再編成を行い、大浜町の慈保育園で学童クラブを新設します。

多子世帯子育て支援の充実

事業費・・・23,929千円

担当課・・・子育て支援課

多子世帯の児童が利用する学童保育やファミリーサポートセンターの利用料の負担軽減をすることで、生活の支援を図ります。

○多子世帯の学童保育利用料補助 事業費 368千円

多子世帯の第3子目以降の児童一人当たりの利用料について、月額1,000円を補助します。

○多子世帯のファミリーサポートセンター利用料補助 事業費 540千円

1時間当たり、午前7時から午後7時までは600円、それ以外は700円の基本利用料金が、2人目については基準額の1/2、第3子目以降の児童については1日当たり2時間まで無料となります。

○多子世帯の認可保育所保育料の無料化 事業費 23,021千円

多子世帯で、第3子以降の3歳未満の児童について認可保育所保育料が無料となります。

V. いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

子育て支援体制の充実と環境整備

担当課・・・子育て支援課

事業費・・・1,682,318千円

- 地域子育て支援拠点事業 事業費 28,763 千円
 - ・子育て支援センター(子育てネットワーク・市立岱明町「くすの木」・森のひろばログさんち)
 - 小学校就学前の子どもたち親子の交流の場で、子育て情報の提供と保育士の専門的支援を行います。
 - ・つどいの広場(天水子育てホットルーム・子育てふれあいひろば)
 - おおむね3歳までの親子が気軽に集い、子育てに関する相談や情報提供を行います。
- 子育て支援短期利用事業 事業費 397 千円
 - ・保護者の病気などで一時的に養育が困難な場合、宿泊保育を行います。(荒尾市シオン園)
- 地域組織活動育成事業 事業費 102 千円
 - ・家庭児童の健全な育成を図るため、母親等と地域住民との地域活動に助成します。(まろかキッズクラブ)
- 子ども医療費助成事業 事業費 165,208 千円
 - ・0歳～小学校修了前の子どもが、病気やケガで医療機関にかかった場合、保険医療に係る一部負担金の全額を助成します。
- 子ども手当 事業費 1,467,148 千円
 - ・次世代の社会を担う子どもの健全な育成を支援するため、中学校修了前までの子どもを養育している親等に支給します。
 - ・3歳未満一律20,000円 3歳以上一律13,000円
- 病児・病後児保育施設建設事業 事業費 20,700 千円
 - ・集団保育が困難な病気や病気回復期にある子どもを預かる施設(レインボールーム)が平成23年3月31日で閉鎖するため、公立玉名中央病院内に新たに施設を建設します。

緊急通報体制等整備事業

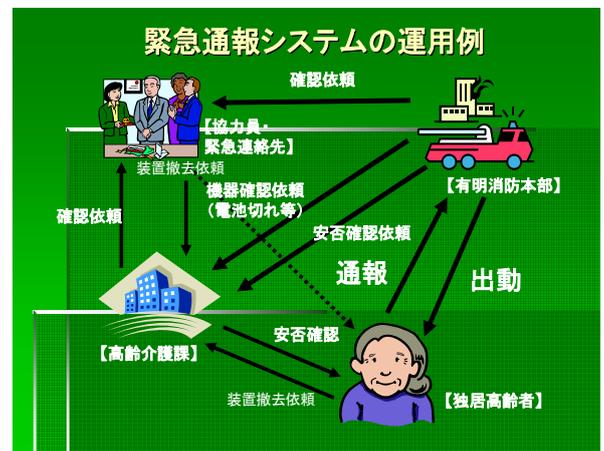
担当課・・・高齢介護課

事業費・・・1,670千円

急な発作の恐れのある高齢者などの住宅に緊急通報装置を設置し、装置の「緊急ボタン」若しくは「ペンダント装置のボタン」が押された場合、24時間体制の有明消防本部指令室に通報が入り、急な発作や災害などの緊急事態に迅速かつ適切に対応します。

◆対象者

- ・おおむね65歳以上の高齢者のみからなる世帯で急病や災害等の緊急時において適切な措置を確保することが困難な人
- ・重度身体障害者のみからなる世帯で急病や災害等の緊急時において適切な措置を確保することが困難な人(※重度身体障害者とは、障害程度1・2級に該当する者です。)



介護施設等整備事業

担当課・・・高齢介護課

事業費・・・8,487千円

消防法施行令改正に伴い、既存の小規模福祉施設(グループホーム等)へのスプリンクラー整備費を補助します。

V. いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

老人クラブ補助金

担当課・・・高齢介護課

事業費・・・13,399千円



健康づくり事業（グランドゴルフ参加者）

玉名市老人クラブ連合会に加入する老人クラブの活動経費に対し、その事業ごとに区分して補助します。

①老人クラブ連合会（自治区老連分）補助金は、各自治区の老人クラブ連合会が実施する特別活動や地域貢献活動に対し、②老人クラブふれあいアンドヘルプ事業は、各自地区での友愛訪問活動に対し、③老人クラブが行う健康づくり事業補助金は、自治区クラブ連合会が実施する健康づくりに係る経費に対し、④老人クラブ連合会（本部分）補助金は、玉名市老人クラブ連合会の本部の活動事業に対し、⑤単位老人クラブ補助金は、地域貢献活動やその他の活動経費として補助します。

高齢者住宅改造給付費

担当課・・・高齢介護課

事業費・・・3,264千円

介護を必要とする高齢者や障がい者などが居住している住宅を、身体障がいの状況に配慮した仕様（段差解消等）に改造する場合に、その費用の全部又は一部を助成します。

◇対象者

- ・65歳以上の者で、介護保険の要支援・要介護の認定を受けた方で、その世帯の生計中心者の前年所得税課税額が7万円以下の世帯の方

◇助成対象箇所

- 1 介護保険の対象となる工事
- 2 以外の、玄関、廊下、階段、洗面所、浴室、便所、台所、居室など、介護を必要とする人が利用する部分に関する改造工事で市が認めるもの。

◇助成額

- ・助成対象となるのは、介護保険対象工事で介護保険の支給限度額（1割の自己負担を含め20万円）を超える部分と市が認めた改造工事費用の合計額。
- ・助成額は、助成限度額と実際の工事額を比較し、低い額に助成率を乗じて得た額とし、限度額は70万円です。
- ・助成は原則として1住宅につき1回とします。



廊下手すりの設置



玄関踏み台設置による段差解消

九州看護福祉大学との連携強化

担当課・・・保健予防課

事業費・・・1,925千円

九州看護福祉大学を会場に、大学の専門スタッフの協力（看護学科・社会福祉学科・リハビリテーション学科・鍼灸スポーツ学科・口腔保健学科）や健康測定機器を使用するなど、大学との連携ならではの健康食育福祉フェアを開催します。



歯科保健コーナー
（健康食育福祉フェア）の様子

V. いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

「ねんりんピック2011（ふれ愛）熊本」玉名市実行委員会補助金
事業費・・・10,661千円

担当課・・・生涯学習課

ねんりんピック(全国健康福祉祭)とは60歳以上の方々を中心とする各種スポーツ競技や美術展、文化イベントなどを通して国民の健康維持、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与するため、全国各地で開催され、現在までに23回を数えます。

熊本県は第24回大会開催県として、平成23年10月に県内14市町で22種目が行われ、玉名市では、マラソンと将棋の2種目が行われます。

おもてなしの心で大会を成功させるため、広報活動や交流大会開催のための補助金を玉名市実行委員会に対し交付します。

◆参加者

参加者は主に60歳以上の方。競技は各都道府県・政令指定都市の代表者で競われます。

<マラソン競技>



<将棋競技>

競技の様子と競技種目マスコット

障がいのある人の自立支援体制の充実
事業費・・・1,256,484千円

担当課・・・総合福祉課

障がいのある人の自立を支援するため、障害者自立支援法に基づいて、さまざまなサービスを提供しています。

- ・介護給付事業:障がい程度が一定以上の人に生活上又は療養上の必要な介護を行う事業
居宅介護、重度訪問介護、行動援護、児童デイサービス、短期入所、重度障害者等包括支援、療養介護、生活介護、共同生活介護、施設入所支援
 - ・訓練等給付:身体的又は社会的なリハビリテーションや就労につながる支援を行う事業
自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、共同生活援助
 - ・地域生活支援事業:市が独自に取り組む事業として、地域で生活する障がいのある人のニーズを踏まえ、地域の実情に応じてサービスを行う事業、障がい者相談支援、コミュニケーション支援、日常生活用具給付等、移動支援、地域活動支援センター強化、訪問入浴サービス、日中一時支援、自動車運転免許取得・改造助成、成年後見制度利用支援事業
- その他、重度心身障がい者への医療費の助成や、身体障がい者への補装具購入助成なども行っています。

相談支援事業

事業費・・・17,630千円

担当課・・・総合福祉課

相談支援事業とは、無料で障がいのある方やその家族が抱える様々な悩み、困りごとの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、障がい福祉サービスの利用支援、就労支援、虐待の防止及びその早期発見のために関係機関との調整を行う等、障がい者等の権利擁護のために必要な援助を行う事業です。

また、相談支援事業をはじめとする地域の障がい者福祉に関するシステムづくりの中核として地域自立支援協議会を設置し困難事例への対応、地域の関係機関によるネットワーク構築、委託指定相談支援事業者の運営評価等を協議します。

<相談支援事業所>

事業所名	主な対象	住所
たまきな荘相談支援センター「いこいば」	身体障がい者	玉名市中46
有明地域障がい児(者)相談支援センター	知的障がい者	玉名郡和水町江田3103-1
荒尾市社会福祉事業団相談支援センター	知的障がい者	荒尾市増永2299-15
指定相談事業所ふれあい	精神障がい者	玉名市小野尻5

V. いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

4. 社会保障の充実

生活保護事業

事業費・・・1,053,000千円

担当課・・・総合福祉課

生活保護制度は、全国民が健康で文化的な生活水準を維持することができる最低限度の生活を保障するため、生活に現に困窮している国民に、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、自立の助長を図ることを目的とした国の制度です。

保護は、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助及び葬祭扶助から構成されています。

ひとり親家庭支援事業の充実

事業費・・・309,042千円

担当課・・・子育て支援課

○ひとり親家庭等医療費助成制度 事業費 13,500 千円

病気やけがで医療機関にかかった場合、その医療費の 2/3 を助成します。

○ひとり親家庭の学童保育利用料補助 事業費 400 千円

その年度の市町村民税が非課税世帯のひとり親家庭の児童又は父母のない児童一人当たりの利用料について、月額 1,000 円を補助します

○ひとり親家庭のファミリーサポートセンター利用料補助 事業費 60 千円

1 時間当たり、午前 7 時から午後 7 時まででは 600 円、それ以外は 700 円、又 2 人目については基準額の 1/2 の利用料金を半額とします。

○母子家庭自立支援教育訓練給付金事業 事業費 200 千円

母子家庭の自立促進を図るため、対象講座を終了した場合、給付金(受講料の 2 割相当額: 上限 10 万円、下限 4 千円)を支給します。

○母子家庭高等技能訓練促進費支給事業 事業費 16,970 千円

資格取得を目指す母子家庭の母に対し、養成訓練の受講期間のうち一定期間について促進費を支給することにより、生活の負担の軽減を図ります。ただし、2 年以上のカリキュラムで通学する場合のみとなり、通信教育は対象になりません。

○児童扶養手当 事業費 277,912 千円

ひとり親家庭の父または母や一定の障がいがあるその配偶者、親に代わって児童を養育している方(外国人の方にも可)に支給されます。所得制限があり、公的年金受給者は不可。

VI. みんなで進める協働のまちづくり

1. 協働のまちづくり

市民活動支援サイト「たまりん」運営
事業費・・・1,082千円

担当課・・・地域振興課

玉名市を拠点として活動する、NPO・ボランティア団体やまちづくり団体が行う市民公益活動を支援するために開設された情報サイトの管理運営費です。

この、たまな市民活動支援サイト「たまりん」は、現在約64団体の登録のもと、各団体における情報発信機能の柱として、また、団体間におけるネットワークづくりに活用されます。

今年度は、「たまりん」がより一層活発に利用されるよう働きかけていきます。

」



市民活動支援サイト「たまりん」
<http://tamana.genki365.net/>

玉名21の星事業助成金
事業費・・・6,300千円

担当課・・・地域振興課



玉名21の星事業研修交流会での
横島校区まちづくり委員会の発表の様子

小学校区ごとに組織された「まちづくり委員会」では、地域の活性化、安心・安全、環境、教育、ふれあい交流など、自分たちの地域に愛着を持ち全国に誇れるような地域づくりの取り組みが進められています。市ではこの活動に対して助成を行っています。

○事業期間

平成18年度から平成25年度までの8年

○助成金額

1校区当たり年間30万円

(事業費の80%を30万円の範囲内で助成)

防災行政無線の整備

事業費・・・1,890千円

担当課・・・総務課

自然災害、危険物災害などの発生に備えた防災行政無線は、合併まで運用してきた各支所の機器が異なるため、その統合を進めます。



防災行政無線の操作卓

VI. みんなで進める協働のまちづくり

2. 人権啓発の推進

担当課・・・人権啓発課

人権推進事業

事業費・・・8,915千円

一人ひとりの人権が守られる、豊かな社会実現のため、次のような事業を行います。

- 1 いじめ・差別などの人権問題でお悩みの方のために、玉名市人権擁護委員による人権相談を行います。
- 2 市民の方々に人権問題に関心を持ってもらうため、12月の人権週間に、街頭啓発を行います。
- 3 児童が「人権の花」を育てることで、命の大切さや思いやり、感謝の心など、子どもたちの人権意識の高揚につとめます。
- 4 隣保館では、人権啓発、福祉の向上、地域交流等のため、次のような事業に取り組みます。
 - ・いろいろな技術習得や地域交流等のための文化講座を開催します。
 - ・人権啓発推進等の情報提供のため「隣保館だより」を発行します。
 - ・地域住民の方の、生活全般の相談を行います。



「人権の花」風景



隣保館講座「男の料理教室」

3. 男女共同参画社会の推進

男女共同参画社会づくり事業

事業費・・・1,629千円

担当課・・・人権啓発課



男女共同参画フォーラム

男女共同参画社会の実現に向けて、次のような事務・事業に取り組みます。

1. 玉名市男女共同参画審議会の開催
男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的かつ総合的な施策及び重要事項を調査審議するため、玉名市男女共同参画審議会を開催します。
2. 男女共同参画フォーラムの開催
男女がお互いを尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現のため、講演会を開催し、市民の皆様へ分かりやすい啓発を行います。
3. 男女共同参画啓発講座の開催
男女共同参画社会の実現に向けての啓発講座を開催します。

4. 情報公開の推進

市勢要覧の作成

事業費・・・2,289千円

担当課・・・秘書課

市勢要覧(5年毎)は、玉名市の情勢と魅力を市内在住の方々に紹介するとともに、玉名市外から訪れた方々へも、もっと玉名のことを知ってもらうため、本年度は、玉名市の魅力を満載した市勢要覧を作成し配布します。

VI. みんなで進める協働のまちづくり

広報事業

事業費・・・24,320千円

担当課・・・秘書課

議会事務局

市広報紙は、各種行政情報やイベント、季節の情報等をお知らせし、議会広報は、議会の開催情報を中心に議会の活動を、より分かりやすく楽しい紙面でお知らせします。

また、熊本県内を中心とした放送エリアを持つラジオ局と委託契約を結び、玉名市で開催されるイベントの紹介を行い、玉名市の魅力を発信するとともに、イベントへの集客を図ります。

公会計制度の導入

事業費・・・840千円

担当課・・・財政課

今まで一般会計や特別会計では、経費の出し入れである現金主義・単式簿記を採用していましたが、今まで以上に行政経営の視点を確立するとともに住民に対してわかりやすい財務情報を開示していくことを目的に、企業会計の考え方に基づいた発生主義・複式簿記などによる財務諸表(①貸借対照表、②行政コスト計算書、③資金収支計算書、④純資産変動計算書)を作成し、資産や債務等の財務状況を明らかにしていきます。平成20年度分から作成し本冊子に概要版を掲載しています。

なお、財務諸表は一般会計はもとより、特別会計、企業会計、一部事務組合、第三セクターなどを連結しての作成となります。

4. 行財政運営の効率化

市民課窓口の効率化

事業費・・・7,500千円

担当課・・・市民課

玉名市では、職員の削減を年次行っていますが、それに伴い市民サービスを低下させないために、必要に応じ非常勤職員を配置します。

平成23年度から市民課においても、窓口業務等の一部を非常勤職員で対応することとしています。

また、これまで県で行っていたパスポートの申請、受付、交付業務についても、平成23年10月より市民課窓口で行います。

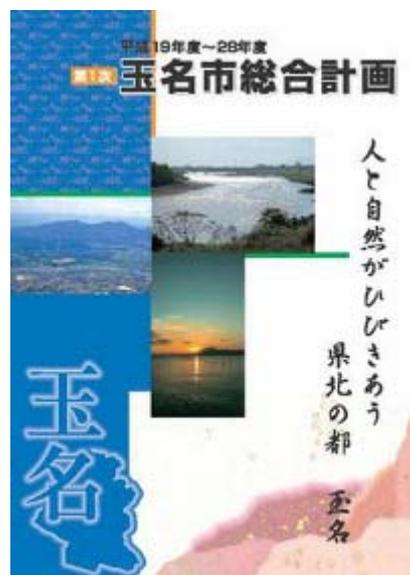
総合計画(後期基本計画)策定

事業費・・・9,342千円

担当課・・・企画経営課

総合計画とは、よりよいまちづくりのための様々な施策を、計画的及び効果的に進めていくための基本的な指針となるものであり、玉名市が進むべき方向を明確に示すとともに、それに向かって行うべき将来像や各種施策を体系化し、主要な事業を示す重要な計画です。

本年度は、5年に1度の見直しの年であることから、第1次玉名市総合計画の後期基本計画(平成24年度～平成28年度)を策定します。



第1次玉名市総合計画(平成19～平成28年度)

VI. みんなで進める協働のまちづくり

公共施設適正配置計画策定

事業費・・・8,946千円

担当課・・・企画経営課

現在、公立学校や社会教育、文化施設などが市内各地に配置されていますが、市民ニーズや財政状況を考慮し、将来の玉名市を見据えた公共施設のあり方を検討し、計画的に整備するための配置計画を策定します。

今年度は、市内公共施設の配置状況や設置目的、利用者数やその推移、維持管理費や老朽化の度合いといった様々な現状を把握した上で、同種の施設について今後の方向性を検討します。

庁舎建設事業

事業費・・・218,603千円

担当課・・・管財課

合併後の最重要課題のひとつである新庁舎の建設については、平成22年度において再検討した結果、建設位置を「市民会館付近」と決定しました。

今年度の事業費の主なものは、詳細な設計である実施設計の委託料と、一部の用地買収に必要な費用です。

市の財政状況や将来の市民負担を考慮し、適正な規模となるよう、実施設計を進める過程で詳細を詰め、合併特例債の適用期限である平成27年度までの完成と、さらなる事業費の削減を目指します。



建築後50年を経過した玉名市役所本庁舎

以上、予算(抜粋)の説明書でした。
資料編もどうぞご覧ください。



当初予算資料

平成23年度玉名市当初予算総括表

(単位:千円)

会計別予算

番号	会計名	21年度 当初予算額	22年度 当初予算額	増減率	23年度 当初予算額	比較増減	
						比較増減	増減率
1	一般会計	27,008,000	25,935,000	△ 4.0	27,425,000	1,490,000	5.7
2	国民健康保険事業特別会計	8,818,704	8,998,313	2.0	9,502,161	503,848	5.6
3	老人保健事業特別会計	27,288	5,102	△ 81.3	0	△ 5,102	△ 100.0
4	後期高齢者医療特別会計	735,515	816,448	11.0	782,316	△ 34,132	△ 4.2
5	介護保険事業特別会計	6,067,471	6,176,974	1.8	6,289,372	112,398	1.8
6	大衆浴場事業特別会計	10,525	9,365	△ 11.0	9,066	△ 299	△ 3.2
7	農業集落排水事業特別会計	916,251	373,279	△ 59.3	348,411	△ 24,868	△ 6.7
8	簡易水道事業特別会計	38,689	39,948	3.3	80,351	40,403	101.1
9	宅地開発事業特別会計	5,000	5,000	0.0	0	△ 5,000	△ 100.0
10	浄化槽整備事業特別会計	35,387	42,183	19.2	36,178	△ 6,005	△ 14.2
11	水道事業会計	1,526,649	1,472,267	△ 3.6	1,166,732	△ 305,535	△ 20.8
12	下水道事業会計	3,047,059	2,445,128	△ 19.8	2,401,770	△ 43,358	△ 1.8
合計		48,236,538	46,319,007	△ 4.0	48,041,357	1,722,350	3.7

当初予算資料

平成23年度一般会計歳入予算

(単位:千円)

区 分 科 目	平成22年度	構 成	平成23年度	構 成	比 較 (B-A)	伸 率	
	A	A	B	B			
自主財源	市税	6,016,381	23.2	6,092,291	22.6	75,910	1.3
	分担金及び負担金	376,083	1.5	375,054	1.4	▲ 1,029	▲ 0.3
	使用料及び手数料	353,197	1.4	337,858	1.3	▲ 15,339	▲ 4.3
	財産収入	15,923	0.1	13,583	0.1	▲ 2,340	▲ 14.7
	寄附金	1,001	0.0	1,001	0.0	0	0.0
	繰入金	380,307	1.5	1,124,263	4.2	743,956	195.6
	繰越金	100,000	0.4	100,000	0.4	0	0.0
	諸収入(収益・受託除く)	272,040	1.0	274,054	1.0	2,014	0.7
	小 計	7,514,932	29.0	8,318,104	30.8	803,172	10.7
依存財源	地方譲与税	317,001	1.2	311,000	1.2	▲ 6,001	▲ 1.9
	利子割交付金	23,000	0.1	23,000	0.1	0	0.0
	配当割交付金	4,000	0.0	3,400	0.0	▲ 600	▲ 15.0
	株式等譲渡所得割交付金	720	0.0	2,400	0.0	1,680	233.3
	地方消費税交付金	600,000	2.3	603,000	2.2	3,000	0.5
	ゴルフ場利用税交付金	30,000	0.1	28,000	0.1	▲ 2,000	▲ 6.7
	自動車取得税交付金	63,000	0.2	59,000	0.2	▲ 4,000	▲ 6.3
	地方特例交付金	78,000	0.3	103,000	0.4	25,000	32.1
	普通交付税	8,700,000	33.5	9,300,000	34.4	600,000	6.9
	特別交付税	900,000	3.5	700,000	2.6	▲ 200,000	▲ 22.2
	交通安全対策特別交付金	13,000	0.1	11,000	0.0	▲ 2,000	▲ 15.4
	国庫支出金	3,099,614	12.0	3,290,345	12.2	190,731	6.2
	県支出金	1,961,126	7.6	1,698,653	6.3	▲ 262,473	▲ 13.4
	諸収入(受託事業収入)	229,707	0.9	1,898	0.0	▲ 227,809	▲ 99.2
	市債	2,400,900	9.3	2,972,200	11.0	571,300	23.8
小 計	18,420,068	71.0	19,106,896	70.7	686,828	3.7	
合 計	25,935,000	100.0	27,425,000	101.5	1,490,000	5.7	

当初予算資料

平成23年度一般会計歳出予算(目的別)

(単位:千円)

区 分 款	平成22年度		平成23年度		比 較 (B-A)	伸 率 %
	A	構成 %	B	構成 %		
1 議会費	251,192	1.0	303,068	1.1	51,876	20.7
2 総務費	3,231,467	12.5	3,080,820	11.2	▲ 150,647	▲ 4.7
3 民生費	8,824,958	34.0	9,607,375	35.0	782,417	8.9
4 衛生費	2,436,112	9.4	2,849,007	10.4	412,895	16.9
5 農林水産業費	1,756,653	6.8	2,271,062	8.3	514,409	29.3
7 商工費	491,996	1.9	423,449	1.5	▲ 68,547	▲ 13.9
8 土木費	2,976,580	11.5	2,644,199	9.6	▲ 332,381	▲ 11.2
9 消防費	1,028,644	4.0	1,051,441	3.8	22,797	2.2
10 教育費	1,595,664	6.2	1,729,401	6.3	133,737	8.4
11 災害復旧費	2,002	0.0	2,000	0.0	▲ 2	▲ 0.1
12 公債費	3,309,731	12.8	3,433,177	12.5	123,446	3.7
13 諸支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
14 予備費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
合 計	25,935,000	100.0	27,425,000	100.0	1,490,000	5.7

当初予算資料

平成23年度一般会計歳出予算(性質別)

(単位:千円)

区 分 科 目		平成22年度		平成23年度		比 較 (B-A)	伸 率 %
		A	構 成 %	B	構 成 %		
義務的経費	人件費	4,955,233	19.1	4,851,304	17.7	▲ 103,929	▲ 2.1
	扶助費	4,833,871	18.6	5,565,962	20.3	732,091	15.1
	公債費	3,309,731	12.8	3,433,177	12.5	123,446	3.7
	小 計	13,098,835	50.5	13,850,443	50.5	751,608	5.7
投資的経費	普通建設事業費	3,350,193	12.9	3,836,502	14.0	486,309	14.5
	補助事業費	1,245,235	4.8	703,523	2.6	▲ 541,712	▲ 43.5
	単独事業費	2,104,958	8.1	3,132,979	11.4	1,028,021	48.8
	災害復旧事業費	2,002	0.0	2,000	0.0	▲ 2	▲ 0.1
	小 計	3,352,195	12.9	3,838,502	14.0	486,307	14.5
その他の経費	物件費	2,297,643	8.9	2,444,925	8.9	147,282	6.4
	維持補修費	180,316	0.7	179,982	0.7	▲ 334	▲ 0.2
	補助費等	4,097,900	15.8	4,024,904	14.7	▲ 72,996	▲ 1.8
	積立金	8,987	0.0	6,286	0.0	▲ 2,701	▲ 30.1
	投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	皆減
	貸付金	127,000	0.5	127,000	0.5	0	0.0
	繰出金	2,742,124	10.6	2,922,958	10.7	180,834	6.6
小 計	9,453,970	36.5	9,706,055	35.4	252,085	2.7	
予備費		30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
合 計		25,935,000	100.0	27,425,000	100.0	1,490,000	5.7

当初予算資料

玉名市基金の動向

(単位:千円)

基金名称		22年度末 残高見込	23年度 積立	23年度 取崩	23年度末 残高見込
積立基金	財政調整基金	3,401,563	2,990	182,397	3,222,156
	減債基金	427,354	141		427,495
	市有施設整備基金	967,808	1,160		968,968
	社会福祉振興基金(取崩型)	759,451	607		760,058
	人材育成基金	99,538		921	98,617
	文化振興景観整備基金	54,255	43		54,298
	水産振興基金	1,741	2	1,500	243
	ふるさと・水と土保全基金	41,238	83		41,321
	教育振興基金	100,000	1,440	1,440	100,000
	地域活性化・経済危機対策基金	3,527		3,527	0
	地域振興基金	500,000	600		500,600
	九州新幹線濁水等被害対策基金	4,180,000		935,918	3,244,082
積立基金合計		10,536,475	7,066	1,125,703	9,417,838
その他の基金	奨学基金	109,417			109,417
	農業集落排水処理施設基金	52,933	8,390		61,323
	国民健康保険事業財政調整基金	164,041	175	145,603	18,613
	簡易水道施設工事等基金	46,597	38	1,663	44,972
	介護給付費準備基金	358,706	1,080	1	359,785
	浄化槽市町村整備推進事業減債基金	2,285	126		2,411
	介護従事者処遇改善臨時特例基金	15,912	18	13,971	1,959
その他の基金合計		749,891	9,827	161,238	598,480
合 計		11,286,366	16,893	1,286,941	10,016,318

当初予算資料

地方債の動向

(単位:千円)

会計名	22年度末 残高見込額	23年度 借入予定額	23年度 償還予定額	23年度末 残高見込額
普通会計	32,159,506	2,972,200	2,915,652	32,216,054
特別会計	3,777,978	37,900	152,565	3,663,313
企業会計	13,008,483	455,200	571,842	12,891,841
合計	48,945,967	3,465,300	3,640,059	48,771,208

特別会計内訳

(単位:千円)

介護	15,286	0	15,286	0
大衆	7,720	0	7,720	0
農集	3,501,857	0	124,021	3,377,836
簡易水道	210,915	27,600	5,386	233,129
浄化槽	42,200	10,300	152	52,348
計	3,777,978	37,900	152,565	3,663,313

企業会計内訳

(単位:千円)

水道	4,125,788	120,000	187,495	4,058,293
下水道	8,882,695	335,200	384,347	8,833,548
計	13,008,483	455,200	571,842	12,891,841

平成21年度財務諸表

新地方公会計制度に基づく財務諸表

現行の地方公共団体の財務会計は、現金主義がとられており、市が整備した資産や借入金などの負債といったストック情報や、行政サービス提供のために発生したコスト情報の不足といった弱点がありました。このようなことから、総務省では発生主義・複式簿記の考え方を取り入れた公会計の整備が検討され、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」の財務書類4表の作成モデルが示されました。

玉名市では、平成21年度分について、総務省の「新地方公会計制度実務研究会報告書」で示された財務書類モデルのうち、『総務省方式改訂モデル』を用いて普通会計、特別会計、企業会計のほか公社、一部事務組合、第三セクターなどを含めた連結財務諸表を作成しました。

○作成した財務諸表は次の4表になります。

1. 貸借対照表

これまでの行政活動によって形成された道路、建物や土地などの資産と、その資産を形成するために要した負債や財源との関係を表したものです。

左側の資産の部は、これまでに取得した財産の総額を記載し、右側には資産を形成する債に要した負債や財源との関係を表し、負債はこれからの世代が負担しなければならない金額、純資産は今までの世代が負担した金額となります。

2. 行政コスト計算書

1年間の行政サービスに費やされた費用（コスト）を表すものです。

行政コストを種類別に区分して、どこにどれだけかかっているのか、それに対する収入はどれくらいあるのかを表します。

3. 純資産変動計算書

貸借対照表における資産と負債の差額である純資産が、1年間にどのように変動したかを表します。

4. 資金収支計算書

1年間の玉名市における収入と支出を性質別に分類して、支出と財源の関係など資金の流れを表します。

○連結財務諸表とは、次に掲げる会計等で作成した財務4表を結合させたものです。

連結している会計等

普通会計（一般会計）

水道事業会計

下水道事業会計

簡易水道事業特別会計

大衆浴場事業特別会計

宅地開発事業特別会計

農業集落排水事業特別会計

浄化槽整備事業特別会計

国民健康保険事業特別会計

老人保健事業特別会計

介護保険事業特別会計

後期高齢者医療特別会計

有明広域行政事務組合

熊本県市町村総合事務組合

玉名市玉東町病院組合

熊本県後期高齢者医療広域連合

玉名市土地開発公社

玉名市自治振興公社

横島町特産物振興協会

平成21年度財務諸表

普通会計貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

単位：百万円

借 方		貸 方	
資産の部		負債の部	
1.公共資産	77,349	1.固定負債	33,434
有形固定資産	77,349	地方債	28,869
売却可能資産	0	退職手当引当金	4,565
2.投資等	3,100	2.流動負債	2,987
投資及び出資金	156	翌年度償還予定地方債	2,744
貸付金	194	賞与引当金	243
基金等(財調・減債除く)	2,149		
長期延滞債権	787	負債合計	36,421
回収不能見込額	-186		
3.流動資産	3,648	純資産の部	
現金預金	3,514	純資産合計	47,676
(うち現金)	852		
未収金	134		
資産合計	84,097	負債及び純資産合計	84,097

普通会計行政コスト計算書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

経常行政コスト	23,074
1. 人にかかるコスト	4,532
人件費	4,196
退職手当引当金繰入等	93
賞与引当金繰入等	243
2. 物にかかるコスト	4,866
物件費	2,201
維持補修費	238
減価償却費	2,427
3. 移転支的コスト	13,088
社会保障給付	4,043
補助金等	5,413
他会計等への支出等	3,632
4. その他のコスト	588
支払利息	561
その他	27
経常収益	767
使用料・手数料	476
分担金・負担金・寄附金	291
純経常行政コスト	22,307
(経常行政コスト－経常収益)	

普通会計純資産変動計算書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

期首純資産残高	45,360
純経常行政コスト	-22,307
一般財源	17,953
地方税	6,381
地方交付税	9,943
その他行政コスト充当財源	1,629
補助金等受入	6,714
臨時損益等	-37
その他	-7
期末純資産残高	47,676

普通会計資金収支計算書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(人件費・物件費・社会保障費等)	
1. 経常的収支	6,063
支出合計	19,475
収入合計	25,538
(普通建設費など施設整備費等)	
2. 公共資産整備収支	-1,568
支出合計	5,002
収入合計	3,434
(貸付金・基金積立金等)	
3. 投資・財務的収支	-4,269
支出合計	4,583
収入合計	314
当年度歳計現金増減額	226
期首歳計現金残高	626
期末歳計現金残高	852

※注記

・貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書及び資金収支計算書は総務省方式改定モデルに則って作成しており、有形固定資産は、昭和44年度以降の地方財政状況調査書の普通建設事業費を集計し、減価償却を反映させた後の金額を計上しています。

・売却可能資産については、資産評価が完了していない為今回は計上していません。

平成21年度財務諸表

連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

単位：百万円

借 方		貸 方	
資産の部		負債の部	
1.公共資産	155,887	1.固定負債	56,507
有形固定資産	155,470	公共団体計	47,359
無形固定資産	417	関係団体計	2,834
売却可能資産	0	引当金	6,314
2.投資等	6,108	2.流動負債	4,601
投資及び出資金	156	翌年度償還予定地方債	3,414
貸付金	194	未払金	465
基金等（財調・減債除く）	5,155	賞与引当金	297
長期延滞債権	790	その他	425
回収不能見込額	-187	負債合計	61,108
3.流動資産	9,018	純資産の部	
資金	7,824	純資産合計	110,016
未収金	1,241		
その他	45		
回収不能見込額	-92		
4.繰延勘定	111		
資産合計	171,124	負債及び純資産合計	171,124

連結行政コスト計算書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

経常行政コスト	52,520
1. 人にかかるコスト	7,978
人件費	7,444
退職手当引当金繰入等	237
賞与引当金繰入額	297
2. 物にかかるコスト	10,576
物件費	5,335
維持補修費	381
減価償却費	4,860
3. 移転支的コスト	31,585
社会保障給付	25,719
補助金等	4,846
他会計等への支出等	1,020
4. その他のコスト	2,381
支払利息	1,124
その他	1,257
経常収益	20,704
1.使用料・手数料	530
2.分担金・負担金・寄附金	10,326
3.保険料	3,461
4.事業収益	5,948
5.その他特定行政サービス収入	439
純経常行政コスト	31,816
(経常行政コスト－経常収益)	

連結純資産変動計算書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

期首純資産残高	108,210
純経常行政コスト	-31,816
一般財源	18,001
地方税	6,381
地方交付税	9,943
その他行政コスト充当財源	1,677
補助金等受入	16,748
臨時損益等	-35
その他	-1,092
期末純資産残高	110,016

連結資金収支計算書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(人件費・物件費・社会保障費等)	
1. 経常的収支	8,112
支出合計	47,186
収入合計	55,298
(普通建設費など施設整備費等)	
2. 公共資産整備収支	-2,442
支出合計	6,696
収入合計	4,254
(貸付金・基金積立金等)	
3. 投資・財務的収支	-5,516
支出合計	6,133
収入合計	617
当年度歳計現金増減額	154
期首歳計現金残高	7,709
経費負担割合変更に伴う差額	-39
期末歳計現金残高	7,824

※注記

・普通会計、特別会計、企業会計及び各団体間での補助金、繰入金等は内部取引として相殺消去しています。

平成23年3月12日
新玉名駅開業



九州新幹線
平成23年春
鹿児島ルート

新玉名駅 開業